

令和5年度（2023年度）第1回東海市環境基本計画推進委員会
次第

日 時 令和5年（2023年）
5月30日（火）午後1時から
場 所 市役所603会議室

- 1 委嘱状交付及び委員長等の選任

- 2 令和5年度（2023年度）のスケジュール及び第1回委員会の進め方について
別紙1及び別紙2のとおり

- 3 協議事項（年次報告書の成果指標の評価について）
 - (1) 資料
別紙3及び参考資料のとおり
 - (2) 補足検討資料
別紙4～7のとおり

- 4 その他
 - (1) 今後の環境関連スケジュールについて
別紙8のとおり
 - (2) 東海市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）のパブリックコメント
実施について
別紙9のとおり

別紙 1

令和5年度（2023年度）東海市環境基本計画推進委員会 及び関連スケジュール（予定）

開催予定	内容	備考
5月30日 (火)	第1回環境基本計画推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・年次報告書指標の評価 ・次年度以降の取組検討
8月	第2回環境基本計画推進委員会	〃
9月	庁内会議	<ul style="list-style-type: none"> ・年次報告書指標の評価に係る調整等
12月	第3回環境基本計画推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・年次報告書決定 ・地球温暖化対策実行計画の説明 ・次期環境基本計画の検討
令和6年 1月	年次報告書の公表	—
2月	環境審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・年次報告書の報告

第 1 回委員会の進め方

想定時刻	実時刻	項目
13:00	:	委員会開始
13:05	:	委嘱状交付
13:15	:	委員長選任
13:20	:	令和 5 年度のスケジュール及び第 1 回委員会の進め方についての説明
13:30	:	年次報告書の成果指標の評価について資料説明
13:35	:	補足検討資料の説明
13:40	:	<p>各部会に分かれての検討</p> <p>【必須検討事項】</p> <p>①別紙 3 の担当部会部分及び環境教育部分における「令和 4 年度事業に対する推進委員の意見及び全体的な評価」欄、「令和 5 年度以降の取組方針」欄に係る意見について確認、検討及び記載内容の調整</p> <p>②補足検討資料の検討内容に対する意見調整</p> <p>【上記、終了後時間があれば】</p> <p>各委員の考える、その他の課題・気になる点等に係る話し合い</p>
14:25	:	<p>部会終了→全体会</p> <p>各部会における、「意見内容」、「その他にどういった課題が出たか」等について各部会長から報告</p>
14:55	:	その他報告事項、委員会終了

成果指標の評価

1. 重点プロジェクト「環境教育」の実施状況

(1) エコスクール

エコスクールは、新型コロナウイルス感染症等の影響により、令和3年度（2021年度）に引き続き一部講座の中止及び定員制限は行ったものの、感染症対策を徹底し開催に取り組んだ結果、実施講座は29講座（対前年度6講座増）となり、参加者数も946人（対前年度195人増）となりました。

地球温暖化対策の啓発推進のため、企業と協働して、「電気自動車のモデルカーを使用した実験講座」や「ソーラーライトを使用した学習講座」を新規実施したところ、多数の申込をいただき、実施後のアンケートも高い満足度となりました。

(2) 環境イベントによるきっかけづくりと仲間づくり

東海秋まつりにおいて環境ひろばを開催し、王滝村のヒノキ、市内で採取したどんぐり等を使用した自然工作を実施し、当初想定した64人を上回る81人が参加しました。また、自然工作の隣で、動物愛護センターと協力して啓発グッズの配布及び地域ねこ活動の説明を実施し、多くの来場者に対し地域ねこ活動の啓発を行いました。

(3) ふるさと再生を目指して ～いきものの生息空間の保全・再生～

ア 加木屋緑地において、「21世紀の森づくり事業」で市民植樹した在来種の樹木の育成管理に努めている他、オニヤンマ、メダカ、ヘイケボタル、アサギマダラ等の生息環境の確保のため、ビオトープの保全、再生に取り組みました。

イ 生物多様性の保全の観点から、新宝町におけるアルゼンチンアリの駆除を毎月実施するとともに、市に広く分布するオオキンケイギクの駆除に関して、コミュニティを通じての啓発及び広報への記事掲載やパンフレットの配布による啓発に取り組みました。

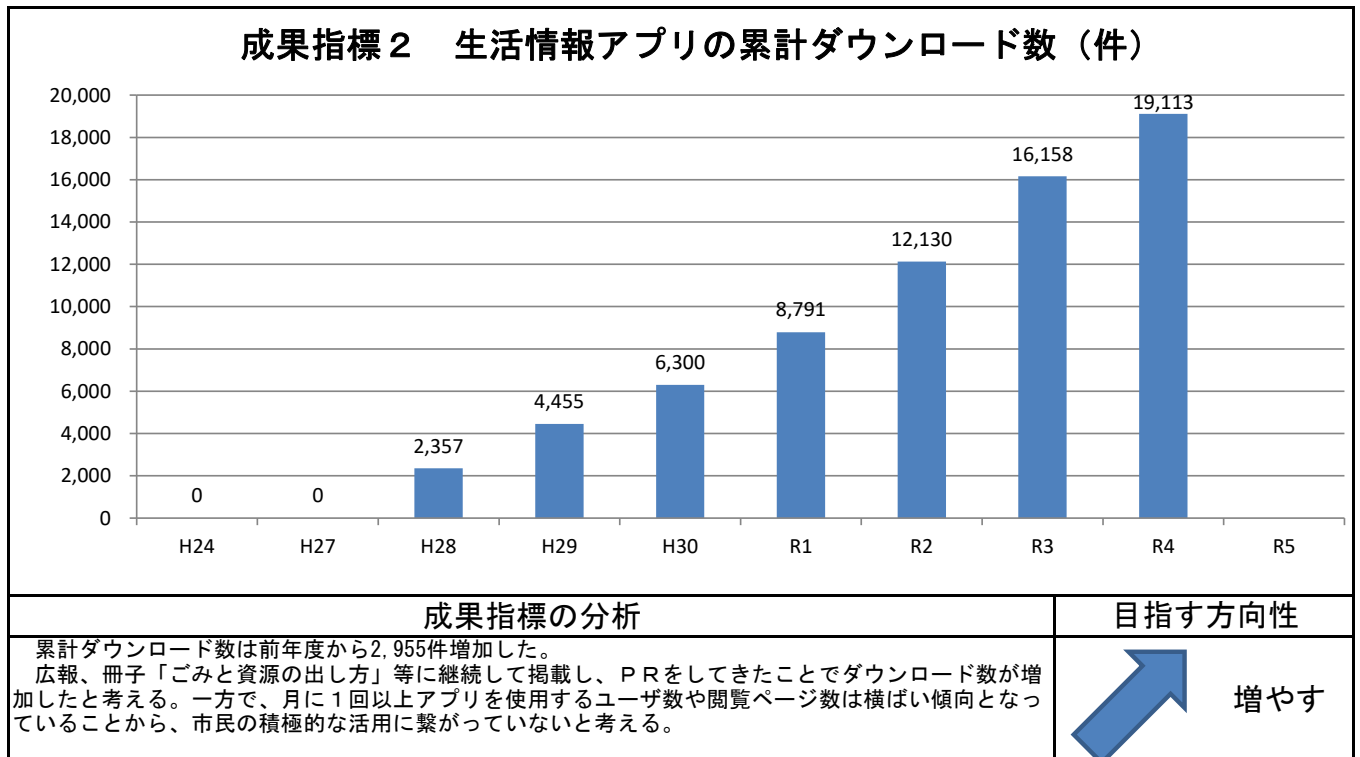
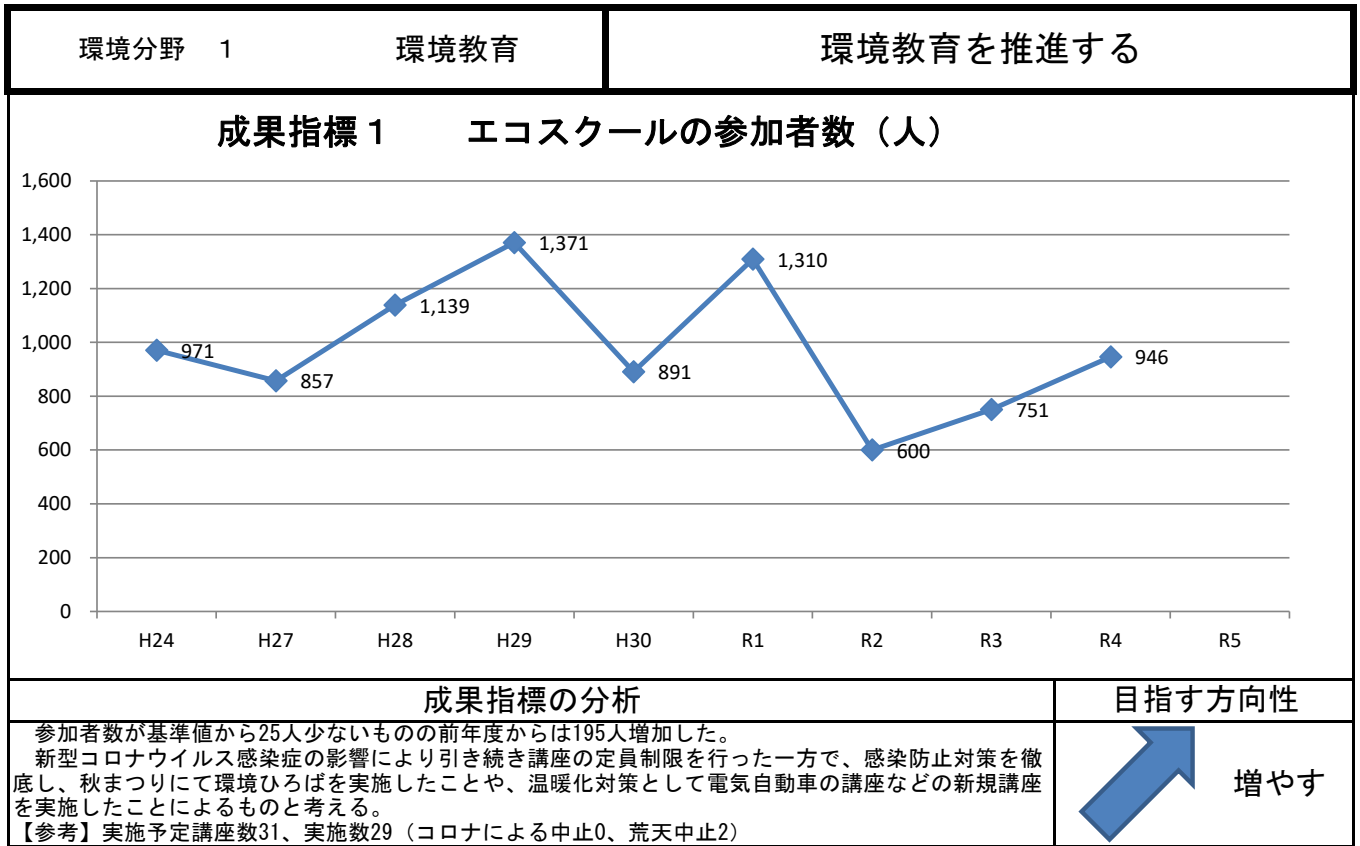
(4) 生活情報アプリなどによる情報提供

エコスクールの申込は、これまで電話による先着順方式が中心でしたが、WEB申込の仕組みを導入するとともに、エコスクールに係るホームページの内容を整理し検索性の向上や説明内容を充実させました。WEB申込を実施した講座では、定員を上回る応募（電気自動車のモデルカーで実験しよう：2.6倍、電池不要！学んで使えるソーラーライトづくり：1.6倍）があり、参加者の申込に係る情報入手性及び利便性の向上が図られたと考えています。

2 成果指標評価表

基準値はH24数値。目指す方向性の欄は、めざそう値(R5の数値)がある場合はその数値を記載し、めざそう値がない場合は矢印で方向性を示すもの

環境の柱 1 環境教育



1 前年度の基本計画推進委員会で設定した今後の取組方針

- ・引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止を徹底してエコスクールを実施し、参加者数の増加に努めるとともに、アンケートによる満足度等の把握に努め分析をすることで、ニーズを捉え、より良い講座を開催していく。
- ・エコスクールの申込をWEBから受付できるようにして参加希望者の利便性を向上させるなど、DX（デジタルトランスフォーメーション）を環境学習にも活用していく。
- ・SDGsやゼロカーボンシティなどを含めた環境学習全般について、ホームページや広報等の情報発信媒体を活用し、より一層の啓発を進める。
- ・令和5年度（2023年度）に市域全体の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定を予定していることを踏まえて、地球温暖化に係るエコスクール講座を充実させる。
- ・公園等を活用したエコスクールや、地域清掃の若年層への意識づけとしての学校等への出前授業など、指標の向上に繋がる様々な環境学習を検討していく。

2 令和4年度（2022年度）の主な事業等

【主な事業】

- （継続）エコスクール開催補助事業
市内や市外でエコスクールを開催するために、エコスクール実行委員会へ補助を行った。
 - (1) 実施講座数
29講座
 - (2) 参加者数
946人
- （継続）3R活動啓発事業
スマートフォンの普及に伴い、市民生活情報をアプリケーションシステム「東海なび」により発信した（発信情報：イベント情報、ごみに関する情報、避難所情報、公共施設情報等）

【改善点等】

- （新規）WEB申し込みを「電気自動車のモデルカーで実験しよう」及び「電池不要！学んで使えるソーラーライトづくり」で導入し、参加者の利便性の向上を図った。また、以下のとおり定員を大きく上回る応募があった。

【講座別申し込み状況】

- (1) 電気自動車のモデルカーで実験しよう
定員：8組 応募数：21組 倍率：2.6倍
- (2) 電池不要！学んで使えるソーラーライトづくり
定員：10組 応募数：16組 倍率：1.6倍

3 令和4年度（2022年度）事業に対する推進委員の意見及び全体的な評価

4 令和5年度（2023年度）以降の取組み方針

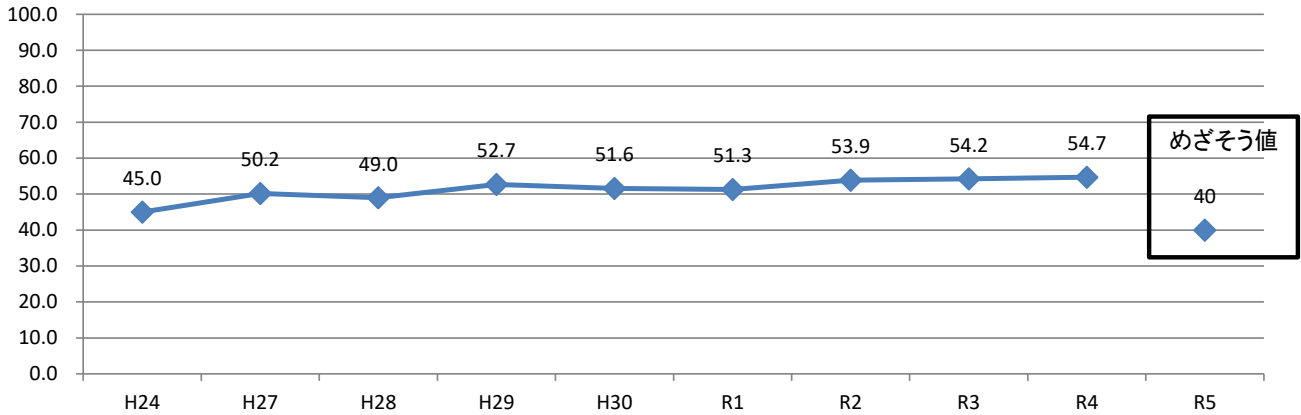
環境の柱 2 環境対策

環境分野 2

大気・ばいじん

きれいな空気を守る

成果指標3 大気汚染などにより、日常生活に支障があると
感じている人の割合(%)



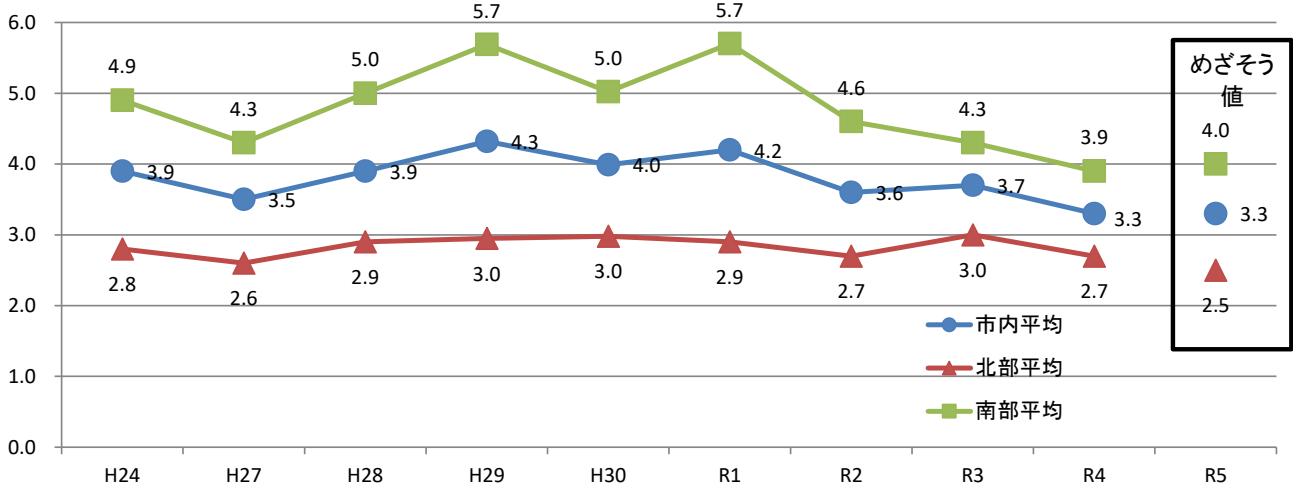
成果指標の分析

基準値と比べ9.7ポイント悪化しており、順調でない。「降下ばいじんの量」はめざそう値を達成した一方で、本指標が悪化し続けていることから、大気汚染や降下ばいじんに対して市民の実感に結びついていないと考える。市民アンケートでは、前年度同様に、30歳から64歳の世代や市南西部地区の割合が高くなっている。

目指す方向性

40%

成果指標4 降下ばいじんの量 (t/km²・月)



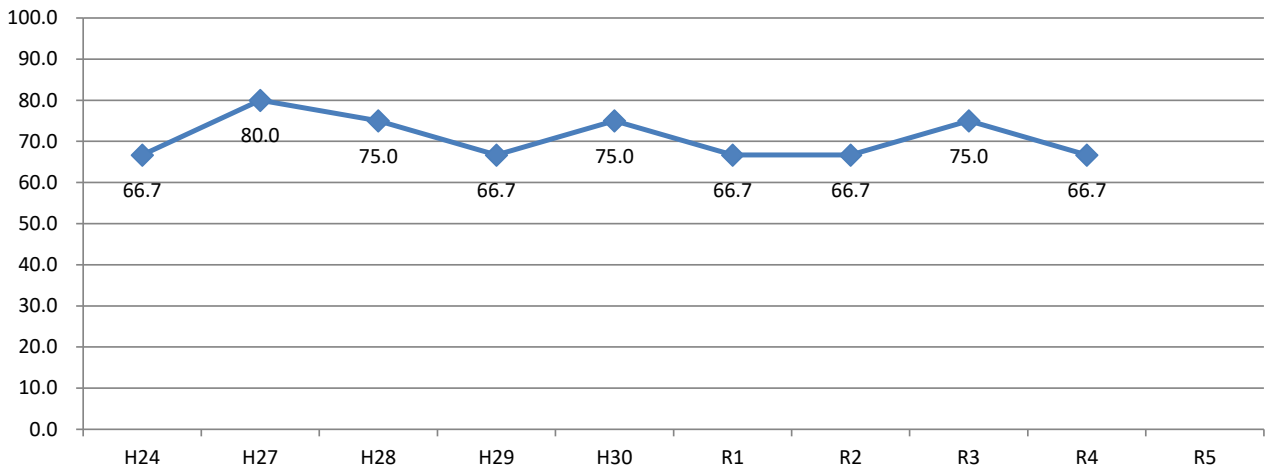
成果指標の分析

市内、北部、南部ともに基準値より改善しており、市内及び南部はめざそう値を達成した。臨海部企業の対策に一定の効果が表れていると考えるが、鉄鋼3社の生産量の変動や気象条件の影響も考えられる。また、例年と比べると差は少なくなっているものの南部は北部に比べて数値が高い状況が継続している。

目指す方向性

3.3t/km²・月(市内)
2.5t/km²・月(北部)
4.0t/km²・月(南部)

成果指標5 環境騒音基準値の適合率(%)



成果指標の分析

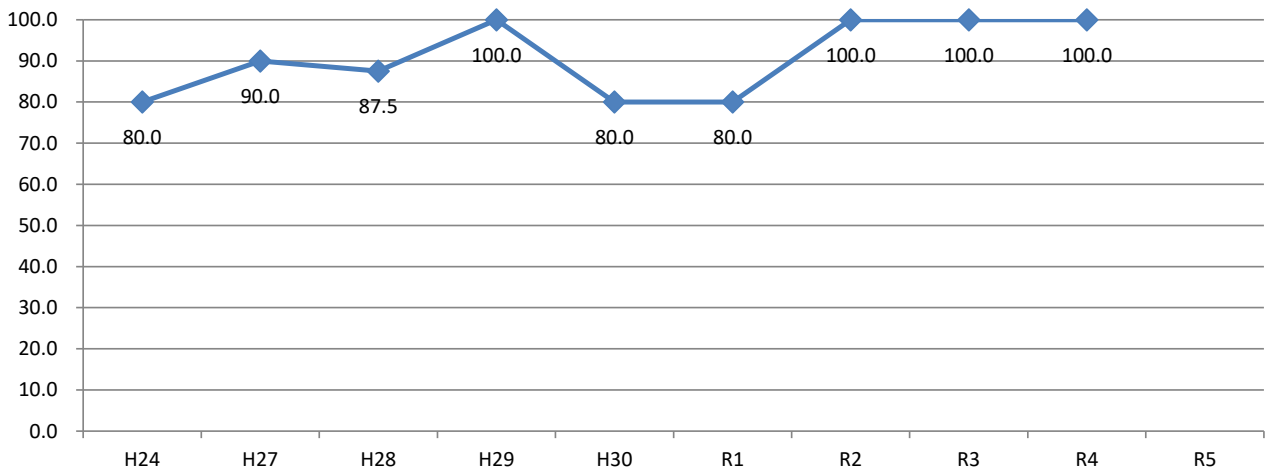
前年値より8.3ポイント減少しているが基準値と同じ値であり、横ばい傾向と考える。
 例年と同様に、昼間時間帯（6-22時）に比べて基準値が厳しい夜間時間帯（22-6時）の適合率が低い。なお、年度内において市民からの環境騒音に係る目立った苦情はない。

目指す方向性



増やす

成果指標6 自動車交通騒音基準値の適合率(%)



成果指標の分析

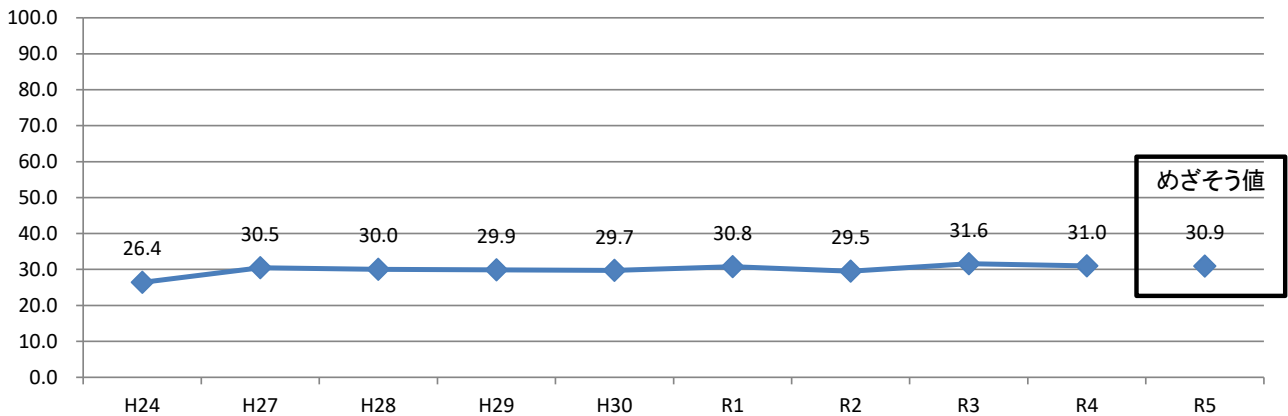
基準値から20ポイント向上しており、前年度に引き続き全地点で適合している。毎年度80%から100%の間で増減を繰り返しているが、順調に推移していると考え。なお、年度内において市民からの道路騒音に係る目立った苦情はない。

目指す方向性



増やす

成果指標7 市内の川の水がきれいであると感じている人の割合(%)



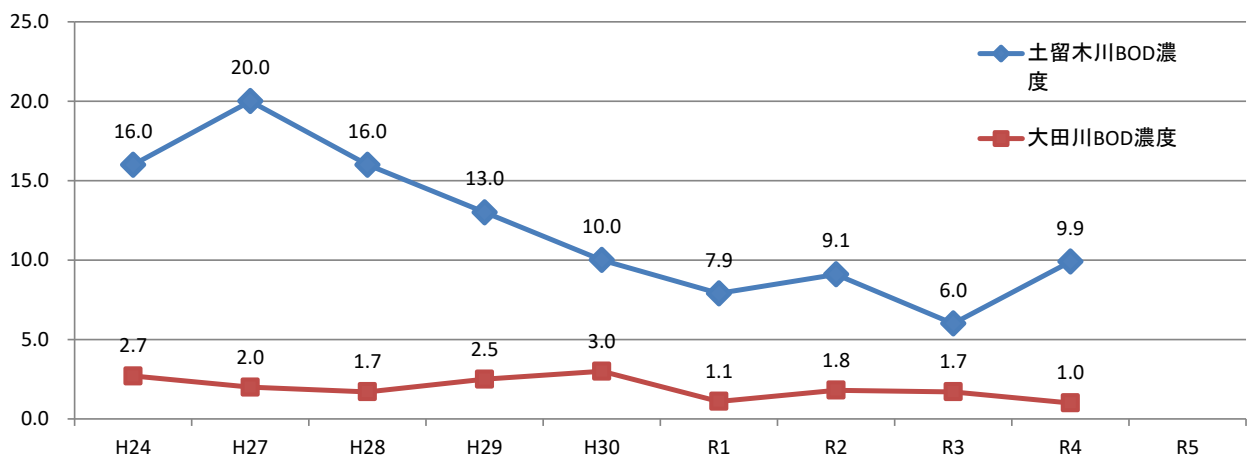
成果指標の分析

基準値と比べ4.6ポイント増加し、めざそう値を超えているが、近年は横ばい傾向が続いている。年齢別では、65歳以上の割合が高く、昔と比較すると川の水が大幅にきれいになっていると考える。学区別では渡内、船島、加木屋南の割合が高い一方で、緑陽、明倫、大田の割合が低い。

目指す方向性

30.9%

成果指標8・9 河川のBOD濃度(mg/ℓ)



成果指標の分析

土留木川は、基準値と比べ6.1ポイント改善しているが、前年度と比較して3.9ポイント悪化した。BOD濃度は採取状況や気象条件などの影響を受けるため、今後の推移を注視する必要があるが、長期的には下水道接続率の向上により改善傾向にあると考える。
大田川は、基準値と比べ1.7ポイント改善しており、下水道整備が充分に進んでいることから、低い数値で推移していると考えられる。

目指す方向性



減らす

1 前年度の基本計画推進委員会で設定した今後の取組方針

- ・市から事業所に対し、事業所から市民への降下ばいじん対策のより一層の広報について働きかける。
- ・これまでの降下ばいじん対策を継続しつつ、愛知県を含む行政機関、事業者及び市民と情報共有を深め、より効果的な対策について検討を進めていく。
- ・市は、広報やホームページを活用し、環境データの積極的な市民周知を行うとともに、市民にわかりやすい情報発信の工夫をしていく。
- ・河川の水質改善状況が市民に伝わるようなイベントや環境学習を検討する。
- ・引き続き悪臭、騒音の監視に努め、苦情があった場合には早期に対応することで、より良い生活環境を守っていく。

2 令和4年度（2022年度）の主な事業等

【主な事業】

●（継続）大気分析事業

大気汚染自動測定器による大気環境測定及び降下ばいじん等の個別の項目における測定を実施した。環境基準のある項目については、光化学オキシダントを除き適合した。なお、光化学オキシダントは愛知県の全測定局において基準値未達成となっている。

●（継続）騒音測定事業

市民に住みよい環境を保全するため、騒音測定をした

- ・環境騒音測定 6地点 基準値適合率 66.7%
- ・自動車騒音測定 5地点 要請限度適合率 100%
- ・夜間工場騒音測定 7事業所 全事業所において協定値適合

●（継続）水質分析事業

住みやすい環境を維持するため、河川、ため池、事業所の水質を分析した

- ・分析内容 河川(8地点)、ため池(16地点)、工場排水(15地点)の水質分析

【改善点等】

- （変更）広報とうかいにおいて、東海市の大気測定結果に関するページについて拡充を図り、降下ばいじん削減に向けた取り組み内容を新たに記事とし、令和4年度は日本製鉄が整備した1・2焼結炉環境集塵機の概要を紹介した。また、ホームページにおいても、降下ばいじん対策のページを作成するとともに、鉄鋼3社の対策に係る写真を追加するなど、分かりやすさの向上を図った。また、鉄鋼3社、県及び市で構成される降下ばいじん検討会において、市から鉄鋼3社に対して降下ばいじん対策の積極的な情報公開を要請した。

3 令和4年度（2022年度）事業に対する推進委員の意見及び全体的な評価

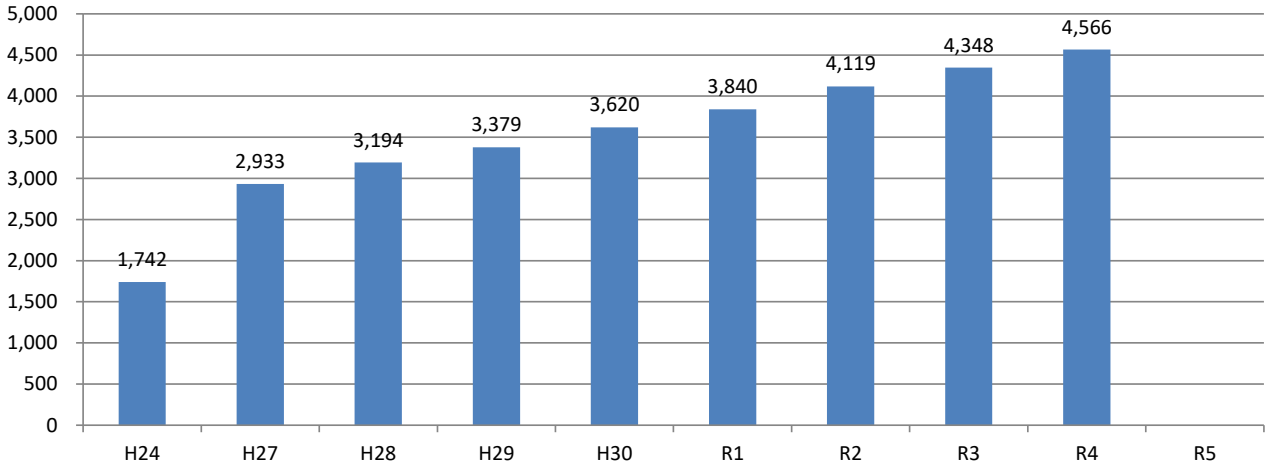
4 令和5年度（2023年度）以降の取組み方針

環境分野 5

地球温暖化対策

低炭素なまちづくりを目指す

成果指標10 太陽光発電システムの累計設置件数(件)



成果指標の分析

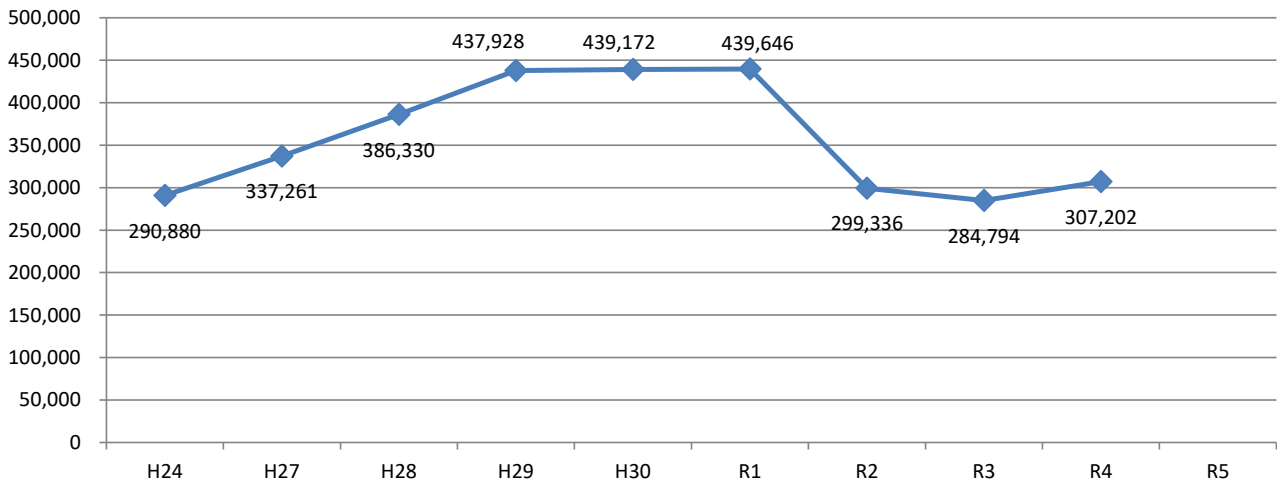
累計設置件数は、基準値より2,824件、前年度から218件増加したものの、前年度からの増加件数は過去5年で最も少なかったため横ばいと考えられる。
電気料金の値上がりが続き、再生可能エネルギーの導入に対する関心は高まっていると考えられるが、FIT制度（固定価格買取制度）による買取価格が低下していること、及び大規模な宅地開発がなかったため増加件数が減少したと考えられる。

目指す方向性



増やす

成果指標11 らんらんバスの年間利用者(人/年)



成果指標の分析

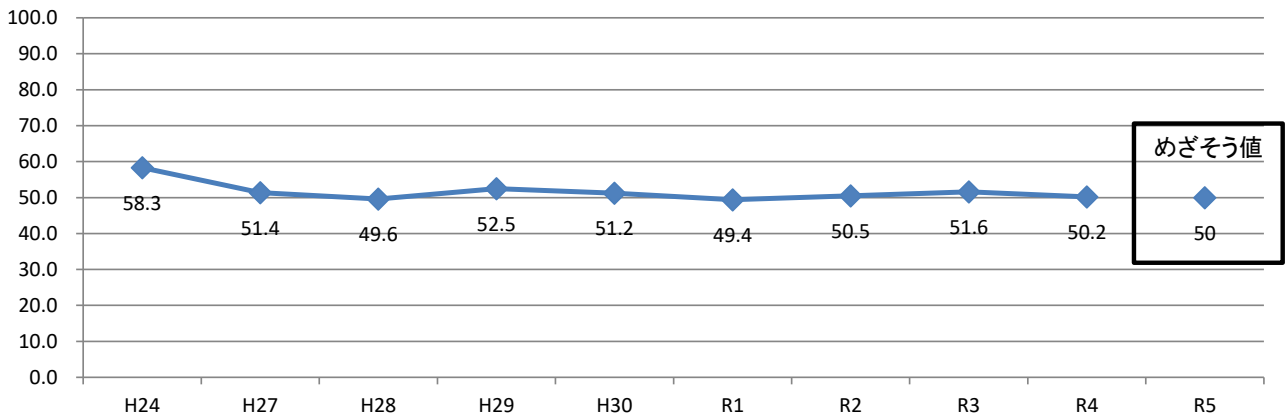
基準値より16,322人増加しているが、元年度と比べると132,444人減少している。新型コロナウイルス感染症の影響が減少する中で、鉄道等も含めた公共交通機関全体で利用者が回復傾向にあるが、コロナ禍前の水準には経済活動が循環していないことやテレワークの進展など社会環境の変化が原因と考えられる。

目指す方向性



増やす

成果指標12 地域内にポイ捨てが目立つと感じる市民の割合(%)



成果指標の分析

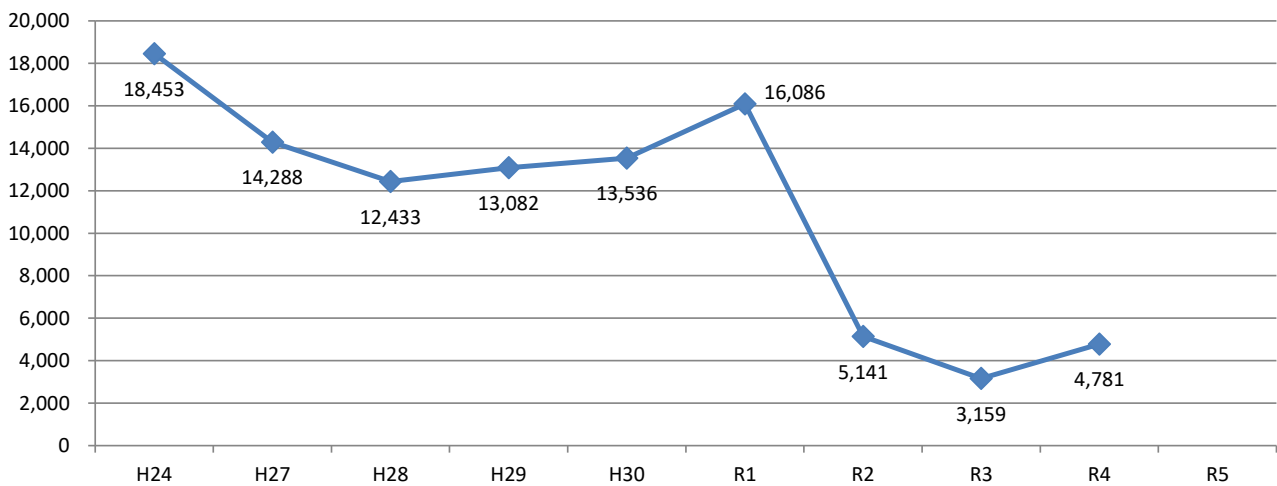
基準値から8.1ポイント改善しているが、平成27年度からは横ばい傾向が続いている。市の地域美化推進事業における道路等のゴミの回収量は減少傾向にあり、市内のポイ捨てゴミは減少していると考えられるが、年齢別で10歳代から20歳代の割合が高くなっていることなど、ポイ捨てなど環境への環境への関心が高くなっていることが、割合の減少に繋がっていない原因と考える。

目指す方向性



減らす

成果指標13 地域の清掃活動に参加した人数(人)



成果指標の分析

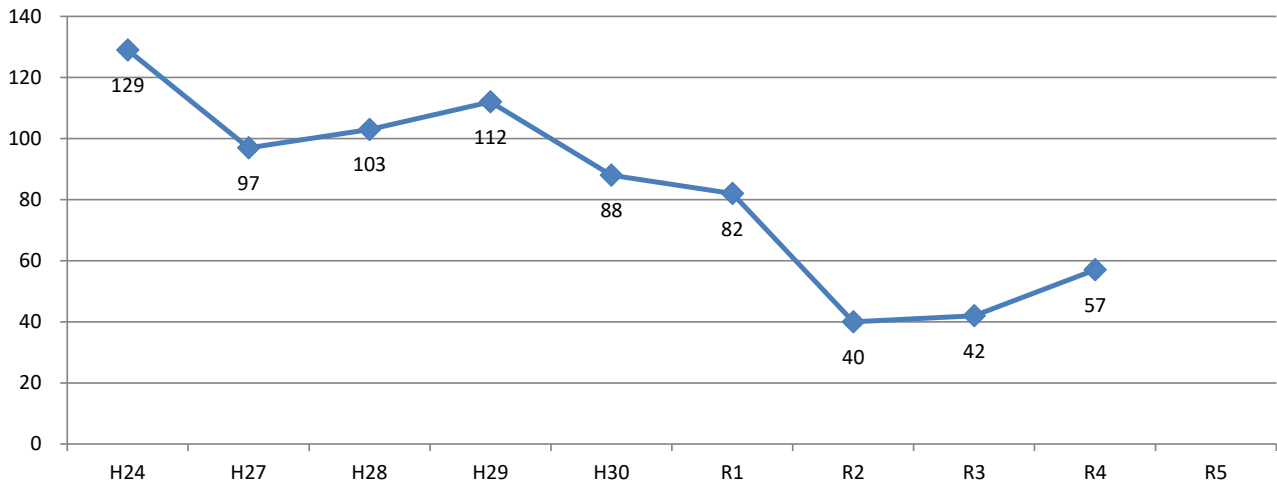
基準値と比べ13,672人減少したが、前年度からは1,622人増加した。新型コロナウイルス感染症の影響が減少する中で、コミュニティ・町内会連合会の一斉清掃活動が徐々に再開する傾向にあるが、コロナ禍前の水準には戻っておらず、事業所・団体の自主清掃活動等の清掃活動も同様の傾向となっている。
 (参考) コミュニティ・町内会連合会の一斉清掃活動参加人数 元年度4,666人→4年度1,558人

目指す方向性



増やす

成果指標 1 4 地域の清掃活動に参加した団体数（団体）



成果指標の分析

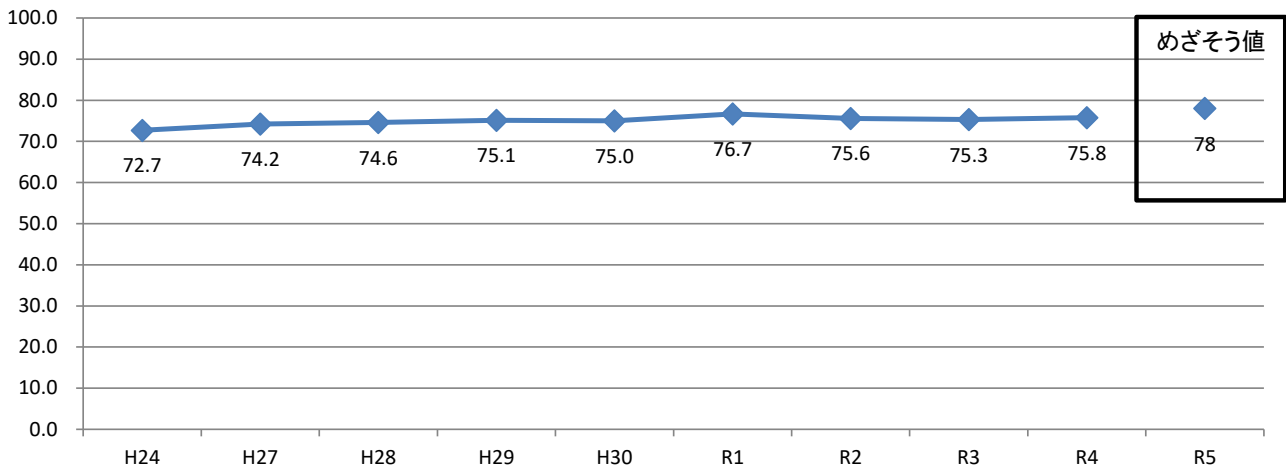
基準値と比べ72団体減少したが、前年度からは15団体増加した。
 新型コロナウイルス感染症の影響が減少する中で、コミュニティ・町内会連合会の一斉清掃活動が徐々に再開する傾向にあるが、コロナ禍前の水準には戻っておらず、事業所・団体の自主清掃活動等の清掃活動も同様の傾向となっている。
 （参考）コミュニティ・町内会連合会の一斉清掃活動参加団体数 元年度14団体→4年度9団体

目指す方向性



増やす

成果指標15 花や緑が充実していると思う人の割合(%)



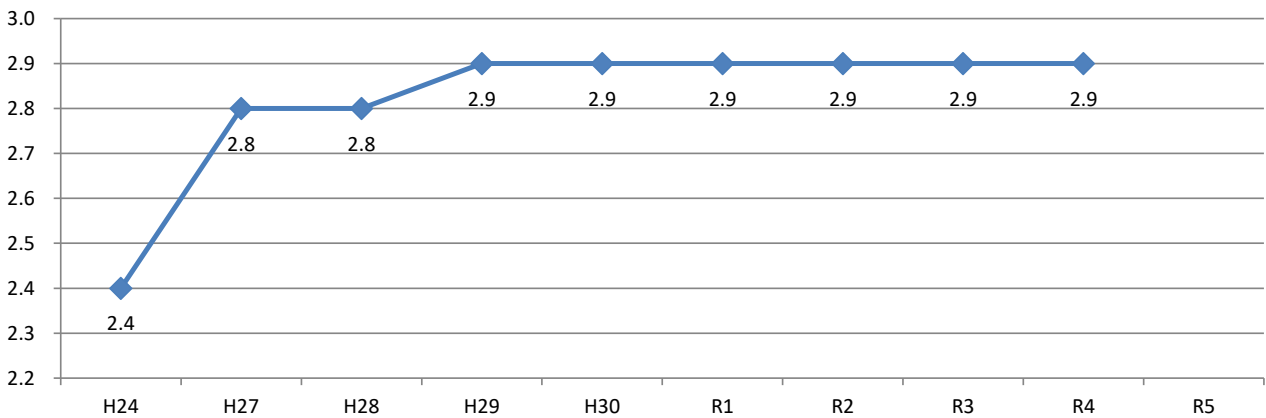
成果指標の分析

基準値と比べ3.1ポイント増加しているが、近年は横ばい傾向である。公園緑地整備及び花と緑のまちづくりの推進と、適切な維持管理を実施しているものの、コロナ禍によって花のまちづくり運動等の活動が縮小となったことが要因であると考えられる。

目指す方向性

78%

成果指標16 東海市の面積に対する都市公園面積の割合(%)



成果指標の分析

基準値と比べ0.5ポイント増加しているが、前年度と同数値であり、近年は横ばい傾向である。都市公園は計画的に整備を進めているが、近年は都市公園の供用開始に至っていないため、横ばいとなっている。

目指す方向性

増やす

1 前年度の基本計画推進委員会で設定した今後の取組方針

- ・ゼロカーボンシティ宣言を踏まえ、市として地球温暖化対策の計画策定を進めるとともに、計画内容に沿った対策について市民・事業者・市が一体となって推進していく。
- ・コロナ禍が続いた場合でも感染症と共存していくことができるような清掃活動の在り方を検討し、地域美化活動を推進していく。
- ・花や緑が充実していると思う人が増えるように、ハード面の整備だけでなく、自然環境を守り育てていく気持ちを育む取組みをより一層充実させる。

2 令和4年度（2022年度）の主な事業等

【主な事業】

- （継続）住宅用地球温暖化対策設備導入促進補助事業
再生可能エネルギーの利用の促進のため、住宅用太陽光発電システム、HEMS、定置用リチウムイオン蓄電システム、家庭用燃料電池システム、電気自動車等充給電設備及び高性能外皮の設置に対して補助をした。
 - ・補助実績 HEMS15件、家庭用燃料電池システム27件、蓄電池61件、電気自動車等充給電設備1件、太陽光発電施設との一体的導入33件
- （継続）地域美化推進事業
ごみのないまちづくりを目指すため、不法投棄監視パトロール、不法投棄ごみの回収、道路等公共施設の清掃等を実施した。
 - ・不法投棄監視パトロールによるごみの回収量 6,900kg
- （継続）自然環境再生事業
『ふるさとの自然』を保全・再生し、ホタル、アサギマダラ等の身近な生き物とふれあい、自然環境を守り育てていくことの大切さを学ぶイベントを開催した。
 - ・場所 加木屋緑地
 - ・内容 ビオトープづくり及び植栽会(4回)
 - ・参加者数 111人(4回)

【その他】

- 地球温暖化対策として、令和5年(2023年)10月（予定）の策定を目指して、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）※2の検討を実施した。
- ※2 市民及び事業者における温室効果ガス排出量削減に係る計画
- また、地球温暖化対策啓発グッズ（うちわ、コットンバッグ等）、啓発チラシを作成し、市内イベント等で配布した。

3 令和4年度（2022年度）事業に対する推進委員の意見及び全体的な評価

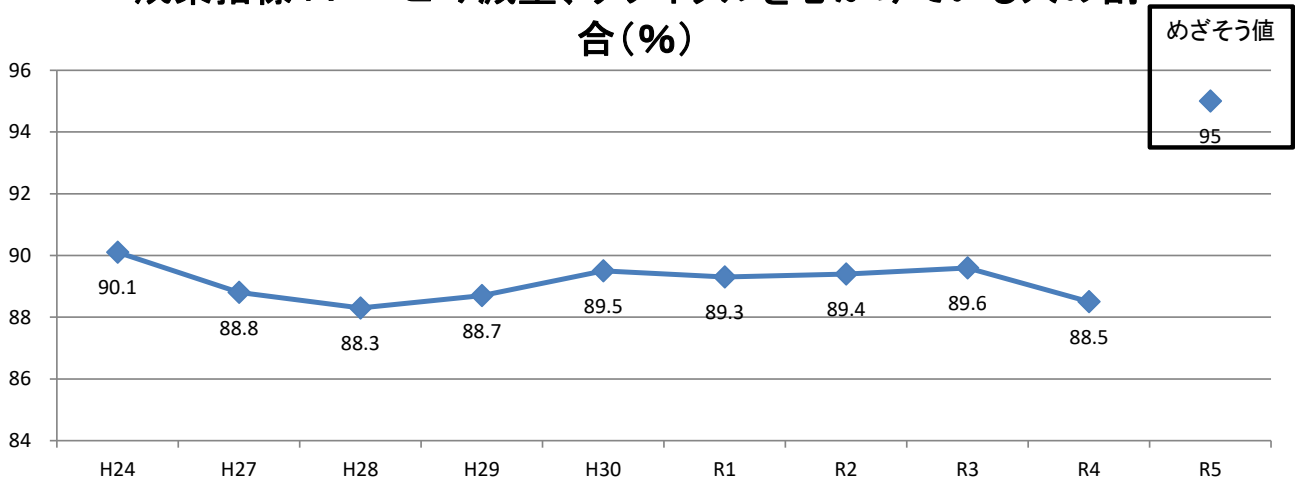
4 令和5年度（2023年度）以降の取組方針

環境分野 8

3 R活動

ごみ減量と資源化を推進する

成果指標17 ごみ減量、リサイクルを心がけている人の割合(%)



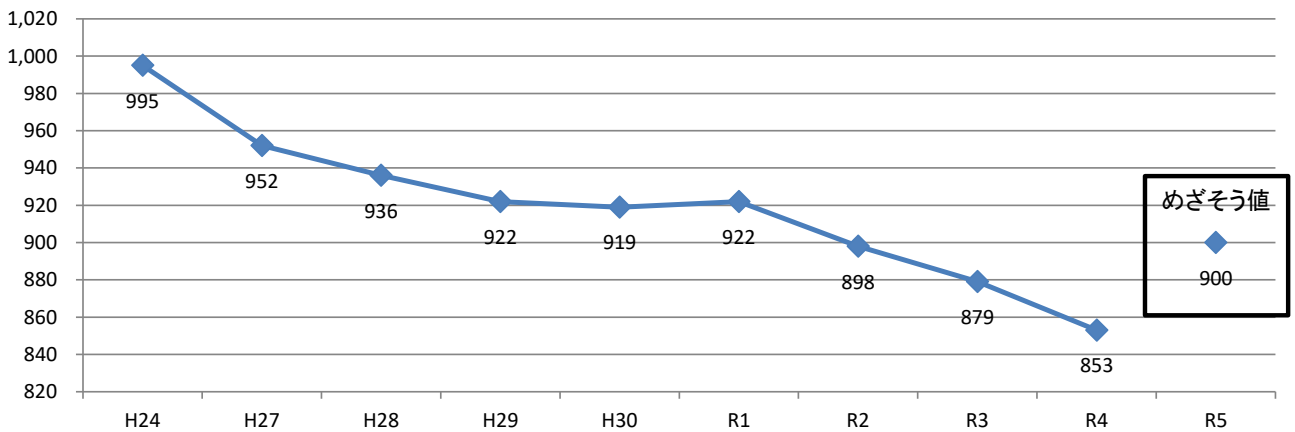
成果指標の分析

基準値と比べ1.6ポイント悪化しているが、高い割合を継続的に維持しており、近隣市町と比較すると良好な数値である。
年齢別では若い層が低く、また、職業別では学生と会社員・公務員が低くなっており、この状態は基準年度以降続いている。

目指す方向性

95%

成果指標18 市民一人当たりのごみの総量 (g/人・日)



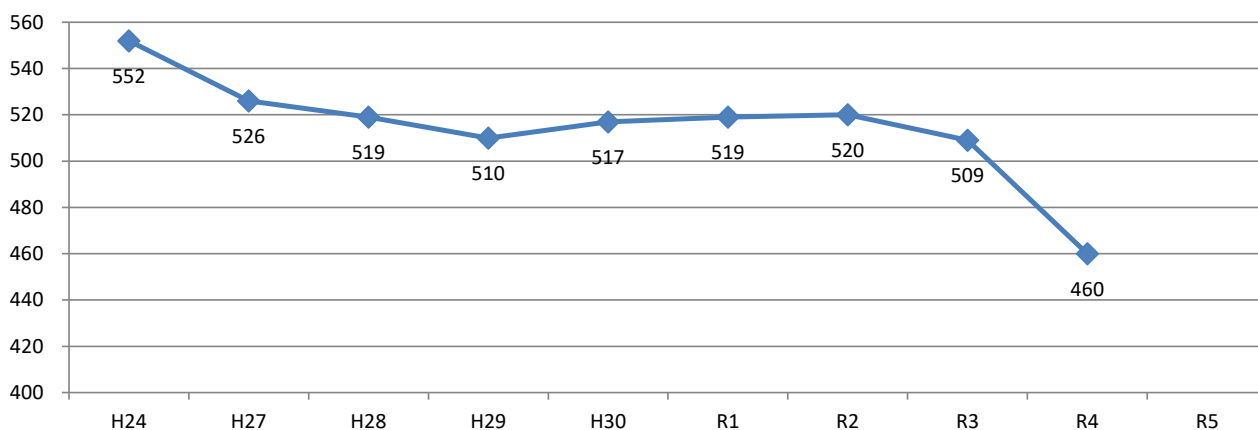
成果指標の分析

一人1日当たりのごみの総量は減少傾向であり、基準値と比べて142g/人・日減少し、目指す方向性で示された900g/人・日を下回っている。
物価の高騰により物品の更新機会が減っていることや、リユース市場の拡大により中古品を売買する人が増えていることが要因と考えられる。

目指す方向性

900g/人・日

成果指標19 市民一人当たりの家庭系ごみの排出量(g/人・日)



成果指標の分析

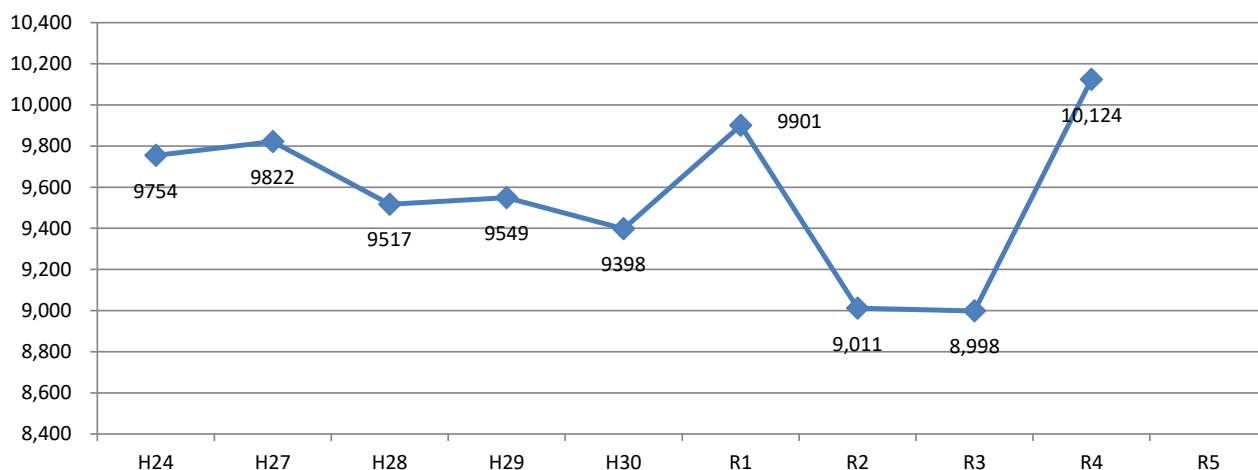
基準値と比べ92g/人・日の改善、また、前年度と比べ49g/人・日の改善となっている。物価の高騰により物品の更新機会が減っていることや、リユース市場の拡大により中古品を売買する人が増えている。また、令和3年度までは公共施設から排出されたごみを家庭系ごみとしていたが、西知多クリーンセンターへの移行に先立ち、令和4年度より公共回収を開始し、事業系ごみとしたことが要因と考えられる。なお、従前の分析方法の場合は498g/人・日で、基準値と比べ54g/人・日の改善、また、前年度と比べ11g/人・日の改善となる。

目指す方向性



減らす

成果指標20 事業系ごみの総排出量(t)



成果指標の分析

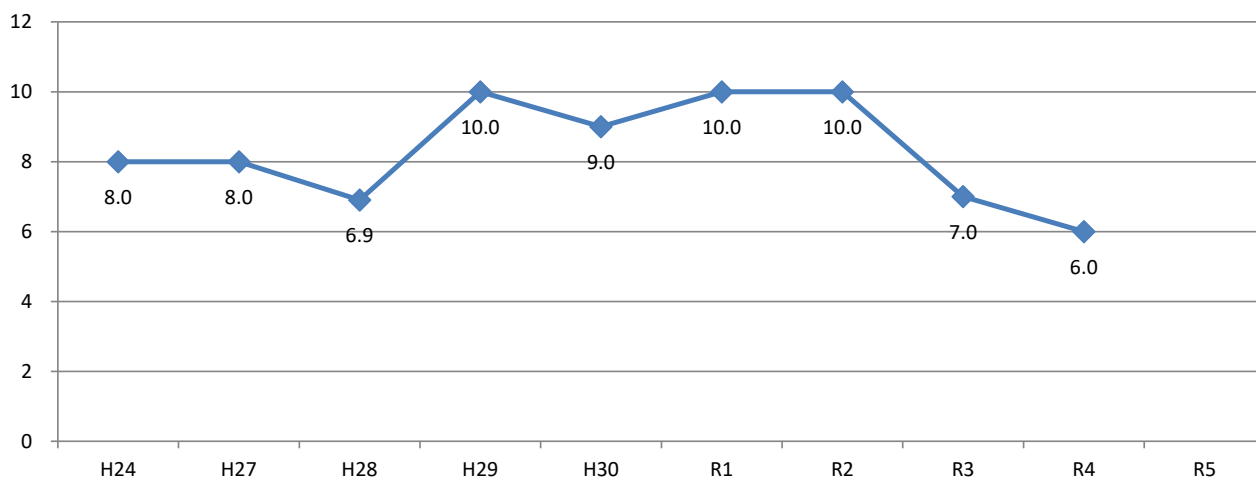
事業系ごみの総排出量は基準値に比べ370t増加、また、前年度に比べ1,126t増加した。令和3年度までは公共施設から排出されたごみを家庭系ごみとしていたが、令和4年度より公共回収を開始し、事業系ごみとしたことが要因と考えられる。なお、従前の分析方法の場合は8,531tで、基準値に比べ1,223t減少、また、前年度に比べ467t減少する。

目指す方向性



減らす

成果指標21 プラスチック製容器包装の不適合物(%)



成果指標の分析

基準値と比べ2ポイント改善した。
 令和4年4月に施行されたプラスチック資源循環促進法に伴い、プラスチック製容器包装の資源化の推進を促したこと、また、市民の分別意識が向上し、排出する段階で不適合物の除去がされていたことが要因と考えられる。

目指す方向性



減らす

1 前年度の基本計画推進委員会で設定した今後の取組方針

- ・取組等が幅広い世代に伝わるよう、生活情報アプリを始めとした市の情報発信媒体を活用した啓発活動を継続する。また、市民一人当たりのごみの総量の目標を達成したことのPR及び更なるごみの減量及び資源化の取組が推進されるような効果的な情報発信方法について検討する。
- ・「プラスチック資源循環促進法」が施行されたため、プラスチックごみの削減及び資源化を促すとともに、排出段階でペットボトル等の不適合物を除去するよう啓発する。

2 令和4年度（2022年度）の主な事業等

【主な事業】

- （継続）3R活動講座等運営事業
東海市エコスクール関連講座「サステイナブル☆キッズフェスタ2023」及び「3Rで住まいを整える～エコで得する！お片付けセミナー～【実践編】」を開催した。
 - (1) サステイナブル☆キッズフェスタ2023
 - ・開催日 R4(2022). 8. 20
 - ・内容 不用品を活用した工作・雑貨製作体験及び3R活動講座
 - ・参加者数 31名
 - (2) 3Rで住まいを整える～エコで得する！お片付けセミナー～【実践編】
 - ・開催日 R4(2022). 7. 16
 - ・内容 3Rを活用し、実践に役立つ収納術等を学ぶ講座
 - ・参加者数 21名
- （継続）資源集団回収事業
ごみの減量と再資源化を推進するため、町内会・自治会・子ども会等が行った資源の集団回収を支援した。
 - ・団体数 106団体 ※R4(2022). 4. 1時点
 - ・回収品目 紙類、缶類、びん類、布類
 - ・回収量 1, 946 t

【改善点等】

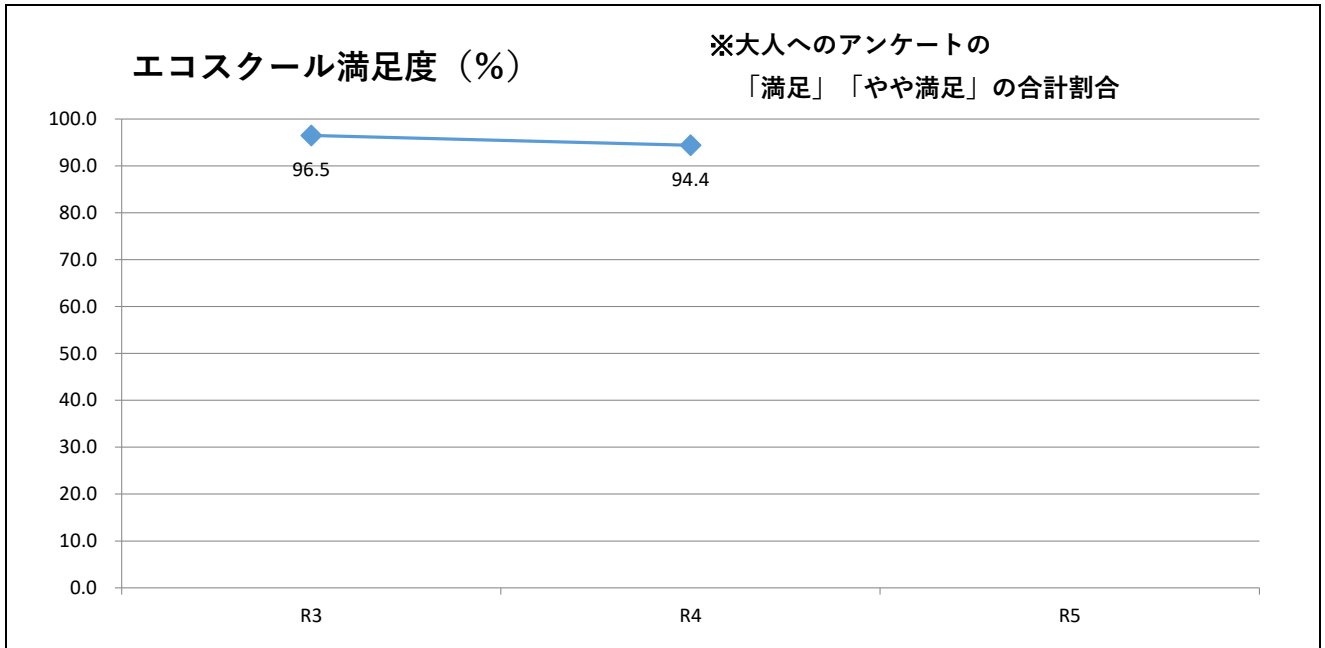
令和3年度に好評であった「3Rで住まいを整える～お片付けセミナー～」の継続として実践編の内容を紹介し、3Rを意識した片付けができる講座を開始した。令和5年度は、家の中にモノを入れない、リデュースをメインとした仕組みづくりを学べるセミナーを開催する。

3 令和4年度（2022年度）事業に対する推進委員の意見及び全体的な評価

4 令和5年度（2023年度）以降の取組み方針

エコスクール満足度について

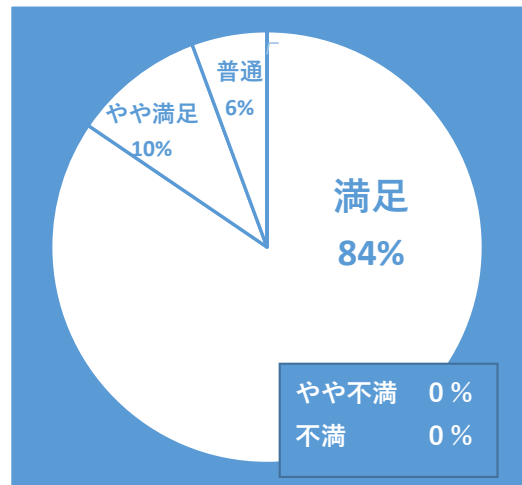
1 エコスクール満足度の推移



2 令和4年度データ詳細

1 大人向けアンケート集計結果

開催日	講座名	講座の満足度				
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満
5/22	東海市自然探検隊①～横須賀新川で生き物を調べよう～	10	0	0	0	0
7/17	藤前干潟と海の生き物～生物多様性の保全について学ぶ～	5	0	0	0	0
7/24	東海市自然探検隊②～上野新川で生き物を調べよう～	12	1	0	0	0
8/4	名古屋港の水質を実感しよう！	4	0	0	0	0
10/5	ワンコインでばばっとエコ弁当を作ろう！	10	2	3	0	0
11/6	つくってあそぼう！エコたっこ	6	1	1	0	0
11/20	電気自動車のモデルカーで実験しよう	6	1	0	0	0
12/4	電池不要！学んで使えるソーラーライトづくり	7	2	0	0	0
合計		60	7	4	0	0
割合 (%)		84.5	9.9	5.6	0.0	0.0
		94.4				



【考察】

前年度と比較して、満足度が2.1ポイント悪化した。意見の内容は、「エコたっこが「子どもに少し難しかった」、エコ弁当について「内容が期待していたものと違った」というものであり、一部の参加者のニーズと異なっていたと考えられるため、参加者のニーズ把握に努め、ミスマッチを防ぐような募集時の案内や、講座内容の改善に努めていく。

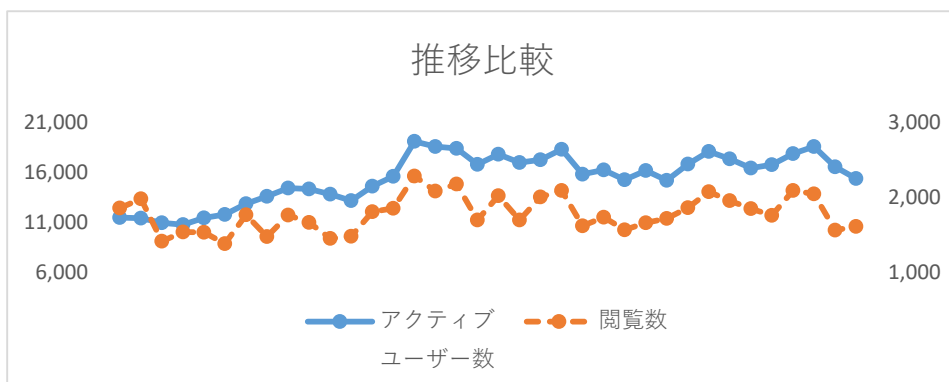
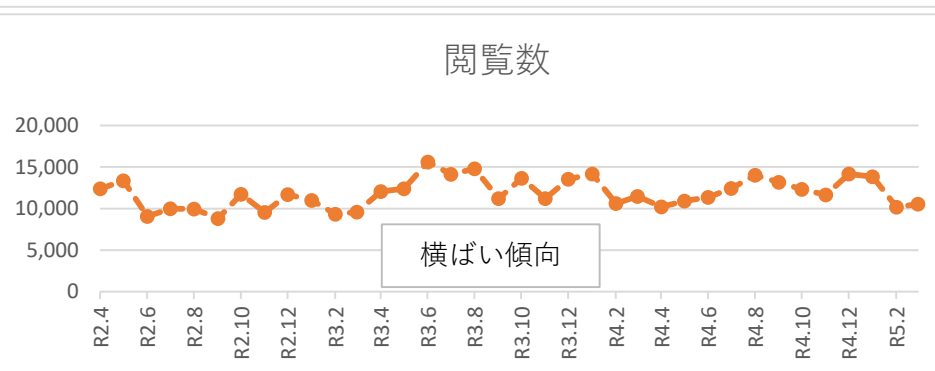
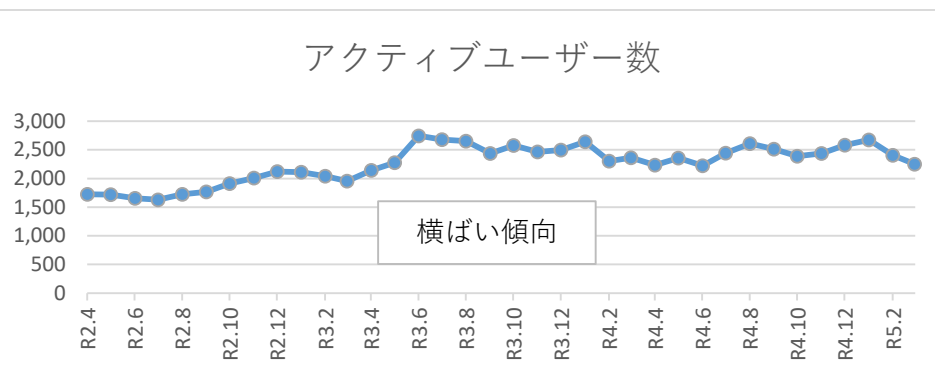
2 子供向けアンケート

開催日	講座名	講座は楽しかったか		
		楽しかった	どちらともいえない	楽しくなかった
5/22	東海市自然探検隊①～横須賀新川で生き物を調べよう～	8	1	0
7/24	東海市自然探検隊②～上野新川で生き物を調べよう～	14	2	0
8/4	名古屋港の水質を実感しよう！	7	1	0
11/6	つくってあそぼう！エコたっこ	11	0	1
12/4	電池不要！学んで使えるソーラーライトづくり	9	0	0
合計		49	4	1
割合 (%)		90.7	7.4	1.9

生活情報アプリ(東海なび)のアクティブユーザー数及び閲覧数について

1 データ(R2.4からR5.3まで3年分)

日付	アクティブユーザー数	閲覧数
R2.4	1,726	12,397
R2.5	1,719	13,338
R2.6	1,655	9,064
R2.7	1,631	10,001
R2.8	1,724	9,954
R2.9	1,767	8,821
R2.10	1,911	11,742
R2.11	2,009	9,532
R2.12	2,121	11,706
R3.1	2,109	10,969
R3.2	2,040	9,337
R3.3	1,953	9,568
R3.4	2,145	12,043
R3.5	2,278	12,373
R3.6	2,746	15,620
R3.7	2,678	14,112
R3.8	2,653	14,812
R3.9	2,440	11,197
R3.10	2,576	13,634
R3.11	2,465	11,211
R3.12	2,499	13,523
R4.1	2,640	14,156
R4.2	2,306	10,616
R4.3	2,364	11,474
R4.4	2,233	10,212
R4.5	2,358	10,911
R4.6	2,226	11,351
R4.7	2,441	12,429
R4.8	2,610	14,026
R4.9	2,511	13,158
R4.10	2,390	12,332
R4.11	2,436	11,652
R4.12	2,582	14,168
R5.1	2,676	13,833
R5.2	2,405	10,176
R5.3	2,249	10,553



2 考察

生活情報アプリについて、前年度からダウンロード数は2,955件増えているが、令和4年度のアクティブユーザー数及び閲覧数は前年度から横ばい傾向となっている。

アクティブユーザー数及び閲覧数は、令和2年度分から把握をしているが、令和3年6月まで増加傾向だったが、その後は横ばい傾向にある。東海なびは、イベント情報の配信が月1回程度である、即時性が低い、専用アプリのインストールが必要、得られる情報が特定の分野に限定されているといった課題があることが要因であると考えられる。

降下ばいじんに係る市民への情報提供について

【実施事項】

- 広報紙で紹介している大気測定結果について紙面の見直しを行い、降下ばいじん対策の推進状況を新たに掲載するとともに、直近の対策として最も効果が見込まれる日本製鉄の環境集じん機の設置について紹介した。
- ホームページにおいて、公害対策のページを整理し、降下ばいじん対策のページを独立して作成するとともに、鉄鋼3社の対策状況に写真を追加し視覚的に分かりやすくした。
- 鉄鋼3社、県及び市で構成する降下ばいじん対策検討会において、市から鉄鋼3社に対し、降下ばいじんに係る企業が把握している情報を市民に積極的に情報提供してほしいと要請した。

(R4 広報紙)

測定局	環境基準との対比			項目	環境基準との対比		
	4年度上半期平均値 (ppm)	1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)	日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		4年度上半期平均値 (ppm)	日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)	3年度上半期平均値 (ppm)
名和小学校	0.001	0	0	名和小学校	0.010	0	0.010
市役所	0.001	0	0	名和町吹付	0.011	0	0.015
新木島小学校	0.001	0	0	市役所	0.009	0	0.009
加木屋小学校	0.001	0	0	加木屋小学校	0.009	0	0.009

表3 光化学オキシダント (昼間・午前5時～午後8時)

測定局	環境基準との対比		
	4年度上半期平均値 (ppm)	1時間値が0.06ppmを超えた時間数 (時間)	3年度上半期平均値 (ppm)
市役所	0.034	201	0.034
加木屋小学校	0.035	251	0.036

表4 浮遊粒子状物質

測定局	環境基準との対比		
	4年度上半期平均値 (ug/m ³)	1時間値が0.06ug/m ³ を超えた時間数 (時間)	日平均値が0.01ug/m ³ を超えた日数 (日)
名和小学校	0.018	0	0
名和町吹付	0.019	0	0
市役所	0.015	0	0
新木島小学校	0.016	0	0
加木屋小学校	0.015	0	0

表5 降下ばいじん

測定局	環境基準との対比		
	4年度上半期平均値 (t/km ² ・月)	3年度上半期平均値 (t/km ² ・月)	前年差 (t/km ² ・月)
一番稲保育園	3.64	3.95	-0.31
名和児童館	2.69	3.47	-0.78
名和町吹付	4.01	4.53	-0.52
名和東児童館	2.98	3.24	-0.26
上野中学校	3.27	3.60	-0.33
ソラト太田川	3.37	4.37	-1.00
文化センター	5.93	5.99	-0.06
養父児童館・養父健康交流の家	3.54	4.31	-0.77
横須賀中学校※	3.22	2.83	0.39
三ツ池保育園	2.35	2.79	-0.44
10地点平均	3.50	3.91	-0.41

表6 鉄鋼3社の降下ばいじん対策状況 (4年1月以降分)

○日本製鉄名古屋製鉄所	
4年1月～	各施設の集じん機の改善・更新
4年5月	1・2焼結炉環境集じん機の設置
○愛知製鋼神知多工場	
4年1月～	工場内の道路補修及び舗装
4年2月	散水車の導入 (3台目)
4年5月	最終処分場の散水能力増強
4年9月	各工場の集じん機の補修
○大同特殊鋼神知多工場	
4年1月～	製鋼工場の集じん機の改善・更新
4年度下半期(予定)	スラグ流降ビット蓋の補修



※横須賀中学校は県の測定局

(R3 広報紙)

4年度上半期(4月～9月)の大気測定結果がまとまりました

4年度上半期の大気測定結果がまとまりましたので、次の表1～5のとおり報告します。

■二酸化窒素(表1)
主に工場などで、重油などの硫黄を含む燃料を燃やすすぎに発生します。

■二酸化炭素(表2)
自動車、工場などの排出ガスに含まれる二酸化炭素が、大気中の酸素と結合して発生します。

■光化学オキシダント(表3)
大気中の窒素酸化物や炭化水素などが、太陽の強い日射しを受けて光化学反応を起こして、生成されます。光化学スモッグは、主として、これら起因するといわれています。

■浮遊粒子状物質(表4)
大気中に浮遊する粒子状物質で、その粒径が10マイクロメートル(1マイクロメートルは1ミリメートルの千分の1)以下のものを指します。

■降下ばいじん(表5)
4年度上半期の平均値は、35トン/月・km²となり、直近10年間で2番目に少ない値となっています。この理由として、これまでの企

企業の事業活動によるものや、自動車からの排出ガス、風などによる土砂の巻上げなど、大気中に浮遊している物質のうち、比較的粒子の大きいものが重なり、雨の作用で地上に降下したのです。

降下ばいじん対策の推進状況

■基準と達成状況
降下ばいじんは、鼻腔で捕捉されやすいことなどにより人々への影響が少ないと考えられることから、粒子が小さい浮遊粒子状物質やPM2.5と同様なり、環境基準が定められていません。一方で、屋外の汚れなど生活への影響があることから、市は、第6次総合計画において、降下ばいじんのめざす目標を33トン/月・km²(5年度市内平均)と設定しています。

■市役所による降下ばいじん対策の推進状況
市役所は、降下ばいじんの発生源の一つと捉えられている製鋼部企業に対し、立入調査時や降下ばいじん対策検討会などにおいて削減対策の要請を継続的に行なっています。製鋼部企業は、この要請を踏まえ、有効と考えられる対策を検討及び実施しています。(表6)

■直近の対策の中で、日本製鉄が4年5月末に完工した1・2焼結炉環境集じん機の効果について

■降下ばいじん(表5)
企業の事業活動によるものや、自動車からの排出ガス、風などによる土砂の巻上げなど、大気中に浮遊している物質のうち、比較的粒子の大きいものが重なり、雨の作用で地上に降下したものです。

■鉄鋼3社の降下ばいじん対策状況(表6)
企業における降下ばいじんの対策状況(実施予定を含む)をまとめたものです。

市では、工場などの発生源に対し、公害防協定などに基づき監視・指導を実施し、快速な環境づくりを今後積極的に進めていきます。

詳しくは、市役所生活環境課(5階)へ。

表6 鉄鋼3社の降下ばいじん対策状況

年度	項目	内容
3年3月	一部緑化	
3年5月	3コーパス更新	
3年10月	製鋼スラグ処理場 散水能力増強	
4年6月(予定)	1,2焼結炉環境集じん機強化	
○大同特殊鋼神知多工場		
3年4月	緑地緑化による巻上げ防止対策	
3年度	製鋼工場集じん機改善・更新	
4年度以降(予定)	製鋼工場集じん機改善・更新継続	
○愛知製鋼神知多工場		
3年1月	スクラップ30番ヤード舗装2期(700m ²)	
3年8月	新東西2号道路3期北側舗装(260m ²)	
	新東西3号道路コイル棟北側舗装(350m ²)	
	南東1号道路東側2号路側舗装(350m ²)	
	東西1号道路40番ヤード南側舗装(約800m ²)	
4年1月(予定)	1号加熱炉工場南側道路舗装(約400m ²)	
	製鋼工場集じん機整備(500m ²)	
4年3月(予定)	散水車導入(2台目)	
4年度(予定)	東地区道路舗装(1,150m ²)	
	西地区道路舗装(1,300m ²)	

表5 降下ばいじん

測定局	項目	3年度上半期平均値 (t/km ² ・月)		2年度上半期平均値 (t/km ² ・月)	
		(t/km ² ・月)	(t/km ² ・月)	(t/km ² ・月)	(t/km ² ・月)
一番稲保育園		3.95	3.15		
名和児童館		3.47	2.45		
名和町吹付		4.53	3.55		
名和東児童館		3.24	2.68		
上野中学校		3.60	2.30		
ソラト太田川		4.37	3.81		
文化センター		5.99	5.69		
養父児童館・養父健康交流の家		4.31	4.62		
三ツ池保育園		2.79	2.44		

日本製鉄の環境集じん機整備の概要

1・2焼結炉

日本製鉄(株)名古屋製鉄所では、原料となる鉄鉱石を焼き固めた後に冷却する工程において、大型の集じん機を追加設置し、さらなる粉じんの飛散防止を図りました。

■工期
2021年1月～4年5月(2年5か月)

■規模
集じん機風量：毎時10万m³

環境集じん機整備の概要



プラスチック資源循環法の対応に係る市の対応について

1 背景

海洋プラスチックごみ問題、気候変動問題、諸外国の廃棄物輸入規制強化等への対応を契機として、国内におけるプラスチックの資源循環を一層促進する重要性が高まっている。このため、多様な物品に使用されているプラスチックに関し、資源循環体制を強化する必要から、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（以下「プラスチック資源循環法」という）が令和4年（2022年）4月に施行された。

2 市の対応

現在プラスチック使用製品を可燃ごみとして出しているが、令和5年（2023年）10月からは、プラスチック容器包装と合わせて資源用袋に入れて出すことが可能となる。

3 指標への影響

(1) 影響あり

指標19の影響について、現在焼却処理しているプラスチック使用製品が令和5年（2023年）10月以降資源化され、市民一人当たりの家庭系ごみの減量が図られるため影響がある。

(2) 影響なし

指標18の影響について、市民一人あたりのごみの総量には、市で回収した資源回収量も含まれているため影響はない。

指標20の影響について、事業所から排出されるプラスチック使用製品は産業廃棄物に該当するため影響はない。

(3) その他

指標21の影響について、プラスチック使用製品の一括回収による不適合物割合の見当がつかないため、実施後の経過を見て判断する必要がある。

東海市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）のパブリック コメント実施について

1 趣旨

本市では令和4年（2022年）3月にゼロカーボンシティ宣言を表明し、市全体で令和32年（2050年）を目途に温室効果ガス排出量を実質ゼロとすることを目指している。

そこで、市内事業者や関係団体等で構成する地球温暖化対策実行計画協議会を設置して市民、事業者、行政の各主体が取り組むべき温暖化対策の具体的な目標や方向性等を定める「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定しており、その素案がまとまったことから、市民に対する情報提供を行うとともに、提出された意見を考慮しながら素案の策定を進めるためにパブリックコメントを実施し、行政運営における公正の確保と透明性の向上、市民参画のさらなる推進を図る。

2 東海市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）

概要版 別紙のとおり

3 対象

- (1) 市内に住所を有する方
- (2) 市内に事務所もしくは事業所を有する個人、法人その他の団体
- (3) 市内に在勤、又は在学する方
- (4) その他意見手続きに係る事案に利害関係を有する方

4 期間

令和5年（2023年）6月1日（木）から6月30日（金）まで

5 提出方法

計画の名称、意見、住所、氏名を明記し、担当課窓口（生活環境課）に持参、郵送、FAX、又はEメールで生活環境課へ提出する。

なお、住所、氏名の記載がないものについての取扱いはしない。

6 公表の方法

- (1) 市ホームページ
- (2) 市役所1階 情報コーナー、生活環境課の窓口での閲覧

7 意見への対応

意見に対する市の考え方は、後日（10月予定）市ホームページ、市役所1階 情報コーナー、生活環境課の窓口で公表する。（意見に対する個別の回答は行わない。）

なお、次に該当する意見についての市の考え方の公表は行わない。

- (1) 個人又は法人の誹謗・中傷に関するもの
- (2) 本計画に関連のないもの
- (3) 意見聴取の対象者でない方からのもの
- (4) 住所、氏名を明記していないもの
- (5) 公表することにより他に重大な影響を与えると実施機関が判断するもの

8 今後のスケジュール

- (1) 7月下旬 環境審議会（答申）
- (2) 10月4日 市議会定例会（全員協議会）（計画策定について報告）
- (3) 11月1日 広報とうかい（計画書概要版（市民用）を折込み）
商工会議所報（計画書概要版（事業者用）を折込み）

東海市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

1 計画の目的

令和4年（2022年）3月に「東海市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、令和32年（2050年）を目途に温室効果ガス排出量実質ゼロとすることを目指しています。
 ゼロカーボンシティの実現に向けて、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、市民、事業者、行政の各主体がこれまで以上に地球温暖化対策の推進を図ります。

2 計画の位置づけ

本計画は「東海市環境基本計画」の地球温暖化対策に関する計画として位置付けます。
 また、「東海市ゼロカーボンシティ宣言」で掲げる令和32年（2050年）を目途に温室効果ガス排出量を実質ゼロとすることを旨とするための具体的な施策を記載した計画とします。
 さらに、「東海市ごみ処理基本計画」や「東海市緑の基本計画」と連携を図りながら、地球温暖化対策に寄与する計画とします。

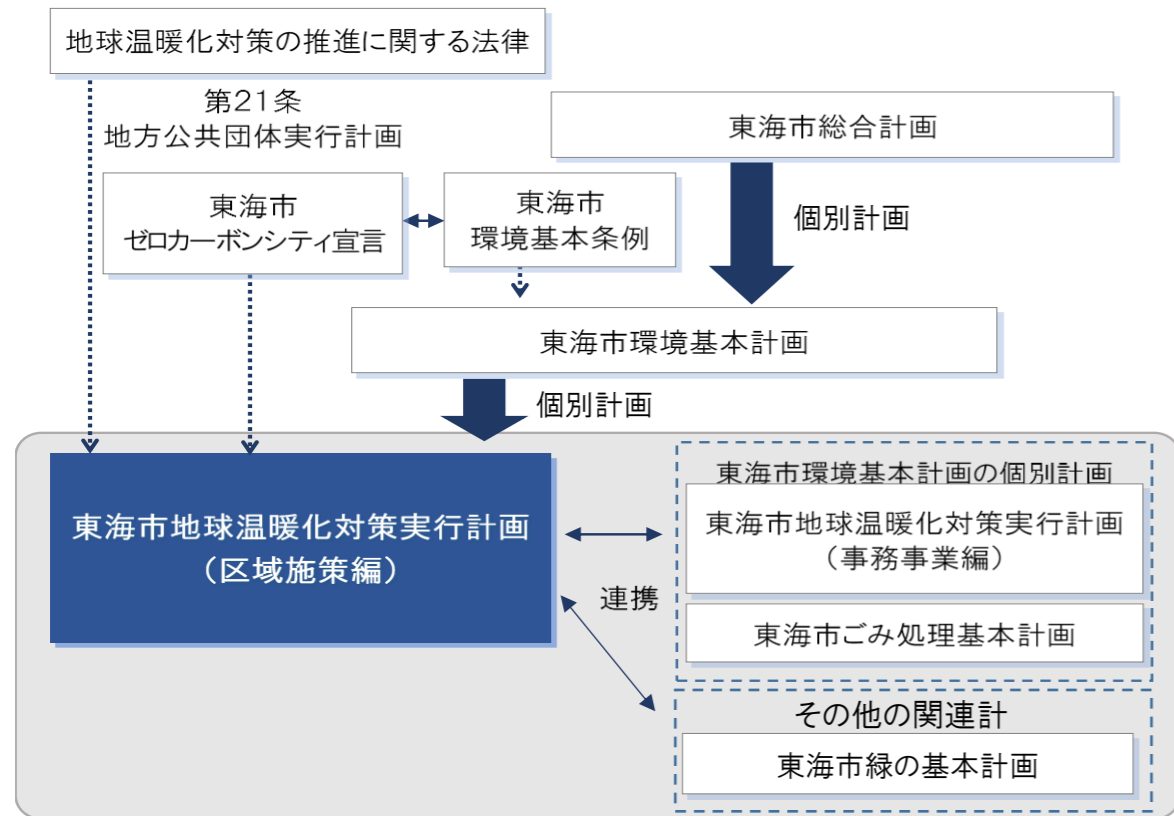


図1 計画の位置付け

3 計画の対象範囲・期間

本計画の対象区域は東海市全域とし、本市に在住する市民及び事業者を実施主体として計画します。
 計画期間は、計画の策定が完了する令和5年度（2023年度）を始期とし、計画期間を策定から10年間として令和14年度（2032年度）までとします。
 削減目標の基準となる基準年度を平成25年度（2013年度）、現段階における最終目標である長期目標を令和32年度（2050年度）とし、目標達成に向けた到達目標地点として令和12年度（2030年度）に中期目標を設定します。

4 温室効果ガス排出量の現状

本市における温室効果ガス排出量は、平成27年度（2015年度）において大きな減少がありましたが、平成28年度（2016年度）以降は微減しています。令和元年度（2019年度）における排出量は、平成25年度（2013年度）と比較して約13%削減しました。
 また、温室効果ガスのうち二酸化炭素が全体の約99%を占めています。

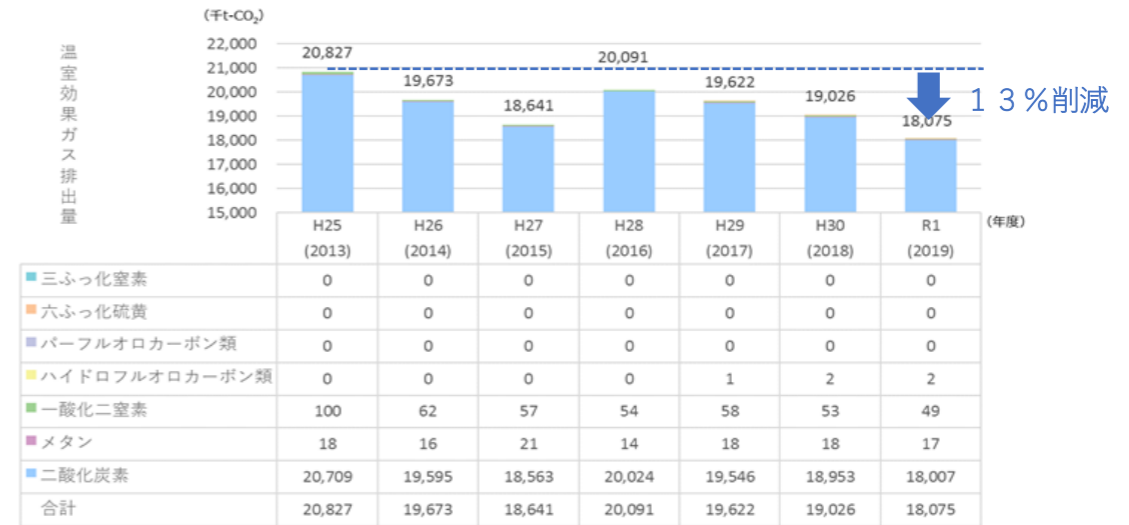


図2 温室効果ガス排出量の推移

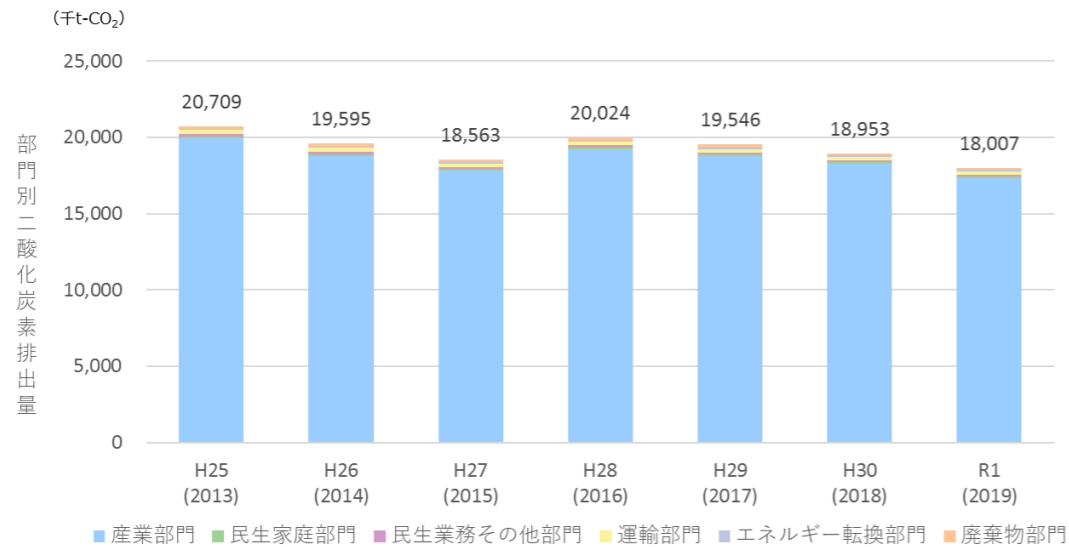
表1 温室効果ガス・部門別の排出量 (千 t-CO2)

温室効果ガス	部門	平成25年度 (2013年度) 排出量	令和元年度(2019年度)			
			排出量	増減量 (H25年度比)	増減率 (H25年度比)	
二酸化炭素	エネルギー起源	産業部門	19,027	16,493	-2,534	▲13%
		民生家庭部門	124	105	-20	▲16%
		民生業務その他部門	154	112	-42	▲27%
		運輸部門	277	231	-46	▲17%
		エネルギー転換部門	84	88	5	5%
	小計	19,667	17,029	-2,638	▲13%	
	非エネルギー起源	廃棄物部門	145	138	-7	▲5%
工業プロセス分野		898	840	-58	▲6%	
小計	1,042	978	-65	▲6%		
計		20,709	18,007	-2,702	▲13%	
メタン		18	17	-1	▲6%	
一酸化二窒素		100	49	-51	▲51%	
代替フロン等4ガス		0	2	2	-	
合計		20,827	18,075	-2,752	▲13%	

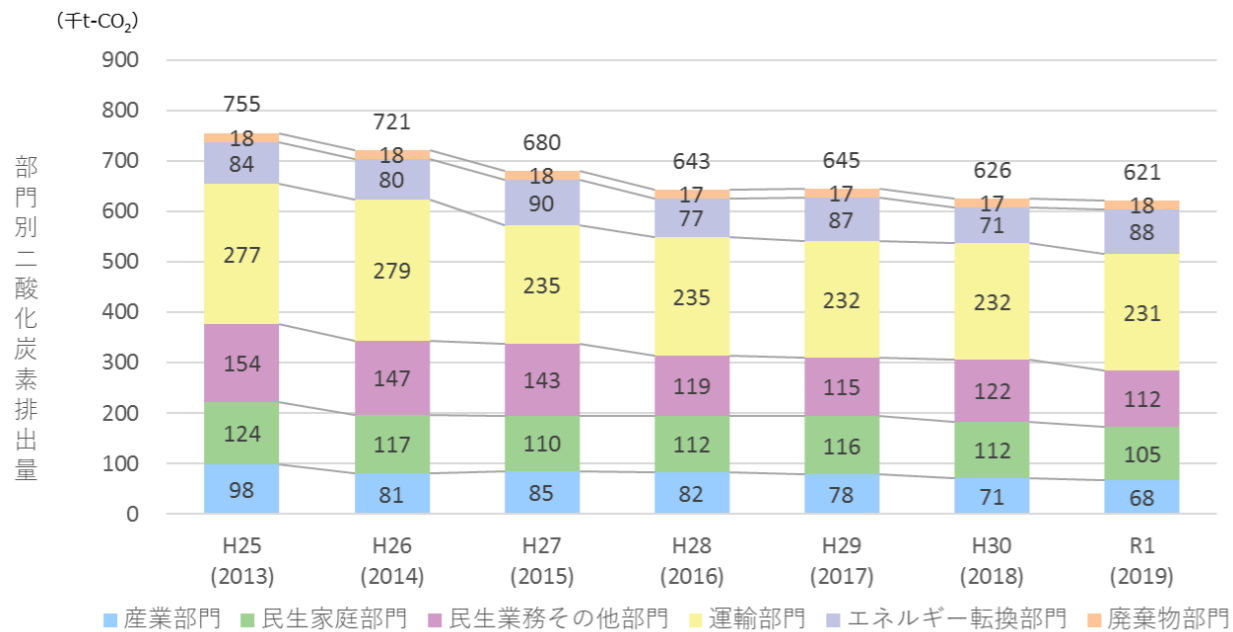
※代替フロン等4ガス：HFCs、PFCs、SF6、NF3（特定事業所より排出）
 ※小数点以下の計算によって表の合計値が一致しない場合があります

5 部門別の二酸化炭素排出状況

二酸化炭素排出量は、令和元年度（2019年度）に18,007千t-CO₂で、平成25年度（2013年度）の20,709千t-CO₂から13%削減しました。全体の排出傾向は産業部門の影響を大きく受けており、削減量の9割に相当する2,534千t-CO₂を産業部門において削減しています。表1に示すとおり、令和元年度（2019年度）における部門別の二酸化炭素排出量は、平成25年度（2013年度）と比較して、エネルギー転換部門を除くすべての部門で減少しており、特に産業部門で約30%、民生業務その他部門では約27%減少しています。



※工業プロセス分野における排出量は製造業（特定事業所）に伴う排出量であることから産業部門へ含めて表示



※産業部門は中小規模事業所、建設業・鉱業および農林水産業における排出量の合計値
 ※工業プロセス分野における排出量、廃棄物部門の一部は製造業（特定事業所）に伴う排出量であることから除外

図3 部門別の二酸化炭素排出量の推移(上:特定事業所を含む 下:特定事業所を除く)

※1 特定事業所排出者：以下の(1)又は(2)の要件を満たす事業者
 (1) 全ての事業所の原油換算エネルギー使用量の合計が1,500kl/年以上となる事業者
 (2) 次のア及びイの要件を満たす事業者
 ア 算定の対象となる事業活動が行われており、温室効果ガスの種類ごとに、全ての事業所の排出量がCO₂換算で3,000t以上となる事業者
 イ 事業者全体で常時使用する従業員の数が21人以上

6 温室効果ガス排出量の削減目標とその考え方

「東海市ゼロカーボンシティ宣言」において、令和32年（2050年）を目途に温室効果ガス排出量を実質ゼロとすることを目指していることを踏まえ、本計画では下記のとおり中期目標および長期目標を設定します。

	目標年度	目標の考え方
中期目標	令和12年度(2030年度)	部門ごとに実施可能な取り組みの削減効果を積上げて設定する
長期目標	令和32年度(2050年度)	「東海市ゼロカーボンシティ宣言」を踏まえ、温室効果ガス排出量を実質ゼロとする

＜特定事業所の排出量に対する削減目標の考え方＞

温室効果ガス排出量は、産業部門からの排出量が約91%を占めており、そのうち約99%が特定事業所からのものです。そのため、総量に対する削減目標を設定した場合、産業部門の特定事業所以外の事業者や民生家庭部門、民生業務その他部門の温室効果ガス削減対策の効果が見えにくくなります。

また、特定事業所では、事業活動における温室効果ガス削減に向けた計画を策定し目標を掲げています。それらの計画は各企業がグローバルな視点で生産活動と温室効果ガス排出抑制を両立しながら、企業全体で取り組む計画であり、本市に立地する事業所、施設の個別計画ではないと考えられます。これらの背景と東海市地球温暖化対策実行計画協議会における意見を踏まえ、産業部門の特定事業所については、本市における削減目標の対象外とします。

ただし、毎年度、特定事業所による温室効果ガス排出量の報告及び排出量の削減状況の評価を行うなど、モニタリングを実施する仕組みを構築します。

表2 各部門における削減目標イメージ (千t-CO₂)

部門	平成25年度(2013年度)排出量	令和12年度(2030年度)	
		削減量	平成25年度(2013年度)比削減割合
産業部門※1	97.6	37.7	38.6%
民生家庭部門※2	124.5	78.4	63.0%
民生業務部門※2	154.5	87.6	56.7%
運輸部門	277.1	130.1	46.9%
廃棄物部門	17.7	2.7	15.1%
二酸化炭素合計	671.4	336.4	50.1%
メタン	0.8	0.2	19.8%
一酸化二窒素	3.3	0.5	14.0%
吸収源		1.6	—
合計	675	339	約50%

※小数点以下の計算によって表の合計値が一致しない場合があります

※1：製造業（特定事業所を除く）、建設業、農林水産業の排出量を対象とします

※2：再生可能エネルギーの導入に伴う削減量は、民生家庭・民生業務部門へ配分します

【参考】

上記の各部門の削減量及び削減率に含まれます

	(千t-CO ₂)	
現状趨勢ケース（電力会社による取組等）※3	196.4	29.1%
再生可能エネルギー導入	28.3	4.2%

※3：電力会社による電源構成の改善と活動量の変動を含みます

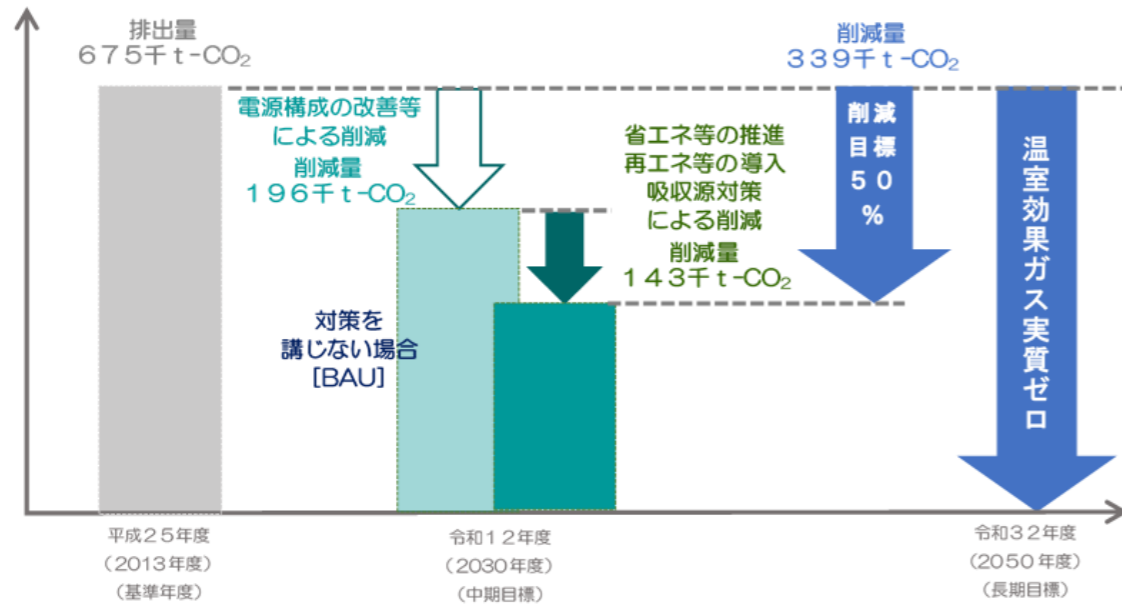


図4 削減目標のイメージ

7 計画の基本方針

地球温暖化対策の取組内容に基づき、エネルギー使用を低減するビジネス・ライフスタイルの促進、再生可能エネルギー等の導入・活用の推進、みどりの保全と創出、ゼロカーボンシティを目指した行動ができる人づくりの4つを基本方針案としました。

<基本方針>

1. エネルギー使用を低減するビジネス・ライフスタイルの促進

- 省エネ技術の活用や効率的なエネルギー利用を通じて、エネルギー使用量を低減しながら快適な暮らしと事業の生産性の向上を目指して取り組みます
- 次世代自動車の普及や利用環境の改善、公共交通機関の利用促進等により交通に伴う環境負荷低減と利便性の高い移動環境づくりを目指して取り組みます
- 3R及び適正処理の推進により廃棄物の燃焼に伴う温室効果ガス排出量を削減するとともに、まちの美化を目指して取り組みます

2. 再生可能エネルギー等の導入・活用の推進

- 市内への再生可能エネルギーの導入拡大や市外からの調達、効率のよいエネルギーへの転換など、エネルギーの脱炭素化と安定供給の実現を目指して取り組みます

3. みどりの保全と創出

- 緑地の保全により吸収源対策を推進するほか、市街地におけるみどりの拡大を通じてヒートアイランド対策を図るとともに、心地よい都市空間の形成を目指して取り組みます

4. ゼロカーボンシティを目指した行動ができる人づくり

- 環境教育や環境学習を推進するほか、各主体が自主的に取り組むための支援やネットワークづくりを行い、一人ひとりが主役となって取り組む機運を高めます

8 各主体の取組、成果指標

基本方針を踏まえて、施策の柱と施策を具体化しました。また、本計画における取組の進捗状況を把握・評価するために、基本方針ごとに指標を設定します。指標は、総合計画をはじめとする関連計画における目標値と整合を図るとともに、毎年度把握が可能な数値を設定します。

表3 施策体系

基本方針	施策の柱	施策
Ⅰ. エネルギー使用を削減するビジネス・ライフスタイルの促進	1. 市民の省エネルギー活動の促進 【民生家庭部門】	1-1. 市民のライフスタイルの転換 1-2. 住宅の省エネルギー化・省エネルギー機器の導入促進
	2. 事業者の省エネルギー活動の促進 【産業部門、民生業務部門】	2-1. 事業所における省エネルギー活動の促進 2-2. 建築物などの省エネルギー化促進
	3. 環境にやさしい移動の普及促進 【運輸部門】	3-1. 次世代自動車の普及促進 3-2. 環境負荷の小さい移動手段の促進 3-3. 拠点ネットワーク型都市の形成
	4. 省資源化と循環利用の促進 【廃棄物部門】	4-1. 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進 4-2. 廃棄物の適正処理の推進 4-3. 海洋プラスチック対策
Ⅱ. 再生可能エネルギー等の導入・活用の推進 【全部門】	1. 市内への再生可能エネルギー等の導入	1-1. 再生可能エネルギーの導入 1-2. 自立分散電源の推進 1-3. 水素エネルギーの導入
	2. 市外からの再生可能エネルギーの調達	2-1. 他自治体との都市間連携の推進 2-2. 再生可能エネルギー電力の普及促進
Ⅲ. みどりの保全と創出 【産業部門】 【民生家庭・業務部門】	1. 都市緑化、吸収源対策の促進	1-1. 緑地保全の促進 1-2. 緑化の推進
	Ⅳ. ゼロカーボンシティを目指した行動ができる人づくり 【全部門】	1. 環境教育・環境学習
	2. 各主体の温暖化対策の促進	2-1. 市民・事業所・行政との連携の推進 2-2. ネットワークの形成

表4 成果指標

項目	現状	目標 【令和12年度(2030年度)】
省エネに取り組む世帯の割合 ※アンケート	【令和4年度(2022年度)】 57%	87%
省エネに取り組む事業所の割合 ※アンケート	【令和4年度(2022年度)】 27%	84%
次世代自動車普及台数	【令和3年度(2021年度)】 589台	17,900台
可燃ごみ排出量	【令和2年度(2020年度)】 29,092 t/年	28,700 t/年
再生可能エネルギー施設の設置容量	【令和2年度(2020年度)】 35,123 MWh	113,000 MWh
都市公園および公共施設緑地の面積	【令和4年度(2022年度)】 293.8ha	調整中
環境学習事業(温暖化対策関連)の参加者数	【令和4年度(2022年度)】 32人	150人

9 計画の推進体制・進行管理

本計画で定めた施策を確実に効果的に推進していくため、市民、事業者、行政が一体となり、主体的に取り組むことができる体制を構築します。具体的には、環境基本計画に基づいて組織された「環境基本計画推進委員会」を、本計画の推進組織として位置づけ、他団体等と連携を図りながら事業を実施するなど、計画的かつ着実に施策を推進していきます。

また、学識経験者等で構成された「東海市環境審議会」等に進捗状況を報告し、取組状況や進行管理に対する意見を反映します。

毎年度の進行管理において、市内の温室効果ガス排出量を算定し把握するとともに、基本方針ごとに設定した取組の目標に基づいて、定量的に取組の進捗状況を点検・評価します。さらに、市内の特定事業所における、温室効果ガス排出量に関する情報収集を行い、削減状況のモニタリングを実施します。

なお、進捗管理の状況については、毎年度の点検・評価結果などを取りまとめた年次報告書を作成し公表します。

※特定事業所の温室効果ガスの排出量は、愛知県による集計データを取りまとめて公表

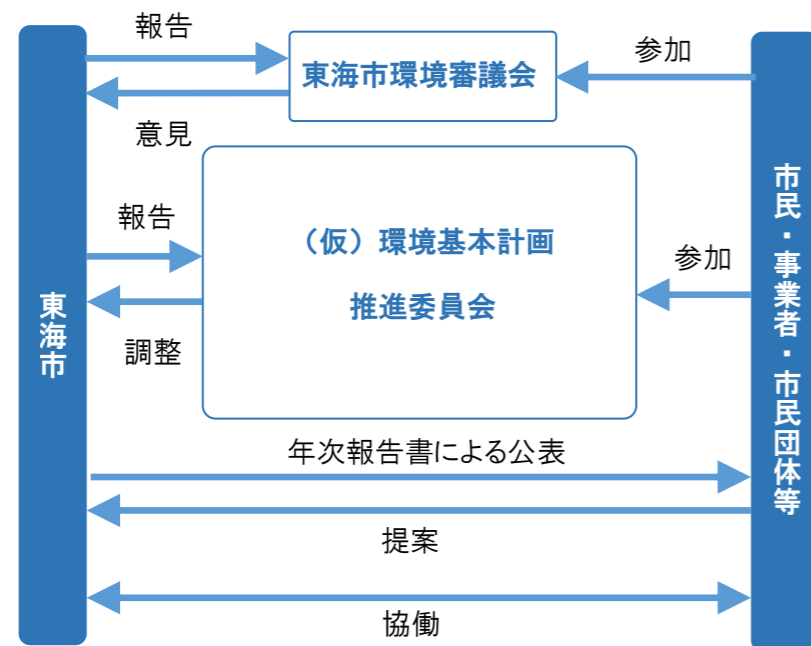


図5 推進体制

令和4年度（2022年度）東海市エコスクール 事業報告書

区分	開催日	曜日	講座名	予定講座数	実施講座数	定員(人)	定員合計(人)	参加人数(人)	参加人数合計(人)
事務局講座	5/22	日	東海市自然探検隊①～横須賀新川で生き物を調べよう～	7	7	30	187	31	198
	7/17	日	東海市自然探検隊②～上野新川で生き物を調べよう～						
	7/24	日	藤前干潟と海の生き物～生物多様性の保全について学ぼう～						
	8/4	木	名古屋港の水質を実感しよう！						
	11/5.6	土、日	【東海秋まつり内での開催】 環境広場 ～木などの自然素材を使用した工作～						
	11/20	日	電気自動車のモデルカーで実験しよう						
	12/4	日	電池不要！学んで使えるソーラーライトづくり						
	4/23	土	公園のタケノコを採って各種料理を学ぼう						
	5/14	土	ヒメボタルに会いに行こう						
	5/22	日	春の親子農業体験教室						
	5/28	土	公園の梅の実を採って各種料理を学ぼう						
	7/2	土	夏の昆虫とオオケマイをみつけよう						
	7/16	土	3Rで住まいを整える～エコで得する！お片付けセミナー～【実践編】						
	7/31	土	夏の生き物を観察しよう						
8/20	土	サステイナブル☆キッズフェスタ							
関連講座	9/18	日	秋の虫をみつけよう	17	16	40	610	荒天のため中止	545
	10/8	土	カブト虫を育てよう						
	10/16	日	秋の親子農業体験教室						
	10/23	日	公園のキノコを観察しよう						
	11/19	土	家庭園芸講座果樹コース						
	12/18	日	星の観察会						
	1/21	土	公園の野鳥を観察しよう						
	2/11	土	朽木にすむ虫を観察しよう						
	3/5	日	みんなでウォーキング						
	5/14	土	第1回ふるさと再生プロジェクト						
	6/11	土	第2回ふるさと再生プロジェクト						
10/22	土	第3回ふるさと再生プロジェクト							
3/11	土	第4回ふるさと再生プロジェクト							
10/5	火	たのしくエコクッキング							
公募講座	11/6	日	【県エコアクシヨン内での合同開催】アロマキャンドルづくり	3	3	15	107	60	92
	11/6	日	【県エコアクシヨンと同時開催】つくってあそぼう！エコたっこ						
	31	31	30			40		100	
	31	30	32			1,024		946	

東海なびダウンロード数集計表

指標2参考

集計日	iPhone	Android	合計	前回比
2016/10/4	213	172	385	-
2016/10/10	272	210	482	97
2016/10/21	364	301	665	183
2016/11/1	699	568	1,267	602
2016/12/1	883	696	1,579	312
2017/1/1	1,063	846	1,909	330
2017/2/1	1,174	907	2,081	172
2017/3/1	1,256	968	2,224	143
2017/4/1	1,326	1,031	2,357	133
2017/5/1	1,395	1,079	2,474	117
2017/6/1	1,467	1,124	2,591	117
2017/7/1	1,541	1,165	2,706	115
2017/8/1	1,619	1,228	2,847	141
2017/9/1	1,698	1,276	2,974	127
2017/10/1	1,777	1,335	3,112	138
2017/11/1	1,981	1,439	3,420	308
2017/12/1	2,129	1,539	3,668	248
2018/1/1	2,284	1,656	3,940	272
2018/2/1	2,394	1,736	4,130	190
2018/3/1	2,475	1,807	4,282	152
2018/4/1	2,595	1,860	4,455	173
2018/5/1	2,733	1,940	4,673	218
2018/6/1	2,843	1,996	4,839	166
2018/7/1	2,970	2,064	5,034	195
2018/8/1	3,058	2,144	5,202	168
2018/9/1	3,137	2,183	5,320	118
2018/10/1	3,220	2,231	5,451	131
2018/11/1	3,293	2,271	5,564	113
2018/12/1	3,395	2,371	5,766	202
2019/1/1	3,502	2,421	5,923	157
2019/2/1	3,592	2,459	6,051	128
2019/3/1	3,659	2,493	6,152	101
2019/4/1	3,766	2,534	6,300	148
2019/5/1	3,891	2,609	6,500	200
2019/6/1	3,963	2,673	6,636	136
2019/7/1	4,077	2,736	6,813	177
2019/8/1	4,158	2,800	6,958	145
2019/9/1	4,230	2,866	7,096	138
2019/10/1	4,316	2,981	7,297	201
2019/11/1	4,520	3,152	7,672	375
2019/12/1	4,665	3,279	7,944	272
2020/1/1	4,819	3,376	8,195	251
2020/2/1	4,927	3,473	8,400	205
2020/3/1	5,015	3,555	8,570	170
2020/4/1	5,151	3,640	8,791	221
2020/5/1	5,343	3,771	9,114	323
2020/6/1	5,495	3,904	9,399	285
2020/7/1	5,625	3,985	9,610	211
2020/8/1	5,720	4,073	9,793	183
2020/9/1	5,848	4,187	10,035	242

2020/10/1	5,949	4,265	10,214	179
2020/11/1	6,112	4,416	10,528	314
2020/12/1	6,367	4,644	11,011	483
2021/1/1	6,537	4,784	11,321	310
2021/2/1	6,688	4,929	11,617	296
2021/3/1	6,822	5,046	11,868	251
2021/4/1	6,967	5,163	12,130	262
2021/5/1	7,131	5,306	12,437	307
2021/6/1	7,293	5,427	12,720	283
2021/7/1	7,795	5,878	13,673	953
2021/8/1	7,961	6,043	14,004	331
2021/9/1	8,087	6,173	14,260	256
2021/10/1	8,227	6,284	14,511	251
2021/11/1	8,442	6,444	14,886	375
2021/12/1	8,578	6,561	15,139	253
2022/1/1	8,741	6,695	15,436	297
2022/2/1	8,906	6,812	15,718	282
2022/3/1	9,019	6,890	15,909	191
2022/4/1	9,173	6,985	16,158	440
2022/5/1	9,342	7,108	16,450	292
2022/6/1	9,523	7,228	16,751	301
2022/7/1	9,681	7,331	17,012	261
2022/8/1	9,808	7,439	17,247	235
2022/9/1	9,931	7,533	17,464	217
2022/10/1	10,110	7,674	17,784	320
2022/11/1	10,260	7,781	18,041	257
2022/12/1	10,389	7,887	18,276	235
2023/1/1	10,516	7,998	18,514	238
2023/2/1	10,647	8,092	18,739	225
2023/3/1	10,723	8,174	18,897	158
2023/4/1	10,841	8,272	19,113	216

※リリース日から集計日までを集計期間とする。

令和4年度（2022年度）降下ばいじん測定結果

単位：t/km²月

測定点	月												同月までの 平均値比較	年平均値	
	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			3月
一番畑保育園	R3	3.72	5.13	3.76	3.94		3.20	2.87	2.14	2.38	1.70	2.07	4.06	3.18	3.18
	R4	3.26	3.16	3.51	4.17	2.20	5.53	1.70	2.33	2.67	1.61	3.08	3.16	3.03	3.03
名和児童館	R3	3.16	3.78	3.23	3.87	3.70	3.06	1.94	1.46	2.29	1.92	1.60	2.58	2.72	2.72
	R4	2.60	2.08	2.99	3.82	1.68	2.96	1.39	1.44	2.15	1.35	2.40	2.50	2.28	2.28
名和町吹付	R3	3.72	4.88	4.05	5.05	5.61	3.88	2.50	2.54	2.81	2.35	2.63	4.03	3.67	3.67
	R4	3.27	3.52	4.15	5.18	2.66	5.25	2.08	3.31	2.63	2.46	2.97	2.79	3.36	3.36
名和東児童館	R3	2.94	3.51	2.51	3.30	4.34	2.86	1.72	1.74	2.19	1.67	1.48	2.42	2.56	2.56
	R4	2.73	2.49	3.83	2.56	2.13	4.16	1.52	1.20	1.98	1.41	2.07	2.27	2.36	2.36
上野中学校	R3	3.41	4.10	2.79	3.88	3.84	3.60	2.50	2.15	2.38	2.02	1.88	2.80	2.95	2.95
	R4	3.18	2.26	3.39	3.16	2.64	4.96	2.10	1.84	2.09	1.50	2.22	2.44	2.65	2.65
北部平均	R3	3.39	4.28	3.27	4.01	4.37	3.32	2.31	2.01	2.41	1.93	1.93	3.18	3.03	3.03
	R4	3.01	2.70	3.57	3.78	2.26	4.57	1.76	2.02	2.30	1.67	2.55	2.63	2.74	2.74
ソラト太田川	R3	4.34	5.76	3.13	3.99	4.42	4.60	4.13	4.35	4.84	4.79	4.02	5.23	4.47	4.47
	R4	3.33	3.43	3.70	3.08	2.23	4.42	2.93	3.39	3.97	3.98	4.54	3.91	3.58	3.58
文化センター	R3	7.04	7.20	5.38	4.67	4.90	6.72	6.92	6.47	7.28	8.48	6.73	7.90	6.64	6.64
	R4	6.96	6.54	6.36	3.89	4.46	7.39	5.01	5.99	7.29	7.02	9.37	6.97	6.44	6.44
まなぶん横須賀 養父児童館・ 養父健康交流の家	R3	3.97	5.57	3.98	3.74	3.97	4.63	4.10	4.77	6.30	4.67	3.12	4.16	4.42	4.42
	R4	3.62	3.83	3.83	3.56	2.03	4.37	3.09	4.05	3.79	3.67	4.23	3.52	3.63	3.63
横須賀中学校	R3	4.05	4.14	1.31	1.32	2.79	3.38	3.87	2.54	4.79	3.80	3.77	5.33	3.42	3.42
	R4	3.50	3.25	3.24	3.32	2.37	3.63	2.14	2.77	4.02	3.59	4.42	4.19	3.37	3.37
三ツ池保育園	R3	3.15	3.71	2.03	2.15	2.51	3.21	2.64	2.41	2.44	2.61	2.01	3.55	2.70	2.70
	R4	2.40	2.72	2.40	2.38	1.42	2.79	1.61	1.66	2.87	2.28	2.77	2.55	2.32	2.32
南部平均	R3	4.51	5.28	3.17	3.17	3.72	4.51	4.33	4.11	5.13	4.87	3.93	5.23	4.33	4.33
	R4	3.96	3.95	3.91	3.25	2.50	4.52	2.96	3.57	4.39	4.11	5.07	4.23	3.87	3.87
10地点平均	R3	3.95	4.78	3.22	3.59	4.01	3.91	3.32	3.06	3.77	3.40	2.93	4.21	3.68	3.68
	R4	3.49	3.33	3.74	3.51	2.38	4.55	2.36	2.80	3.35	2.89	3.81	3.43	3.30	3.30
加家公民館	R3	4.29	5.78	4.00	4.42	6.44	4.90	3.52	3.74	4.89	3.20	2.94	3.98	4.34	4.34
	R4	3.77	3.62	4.12	3.52	2.76	6.00	3.40	3.11	3.56	2.62	4.67	3.74	3.74	3.74
養父町公民館	R3	7.06	8.59	5.22	4.75	4.16	7.68	7.02	6.71	10.01	6.89	5.16	7.31	6.71	6.71
	R4	6.54	5.50	6.15	5.84	3.82	6.68	5.60	6.29	5.63	4.50	7.57	6.17	5.86	5.86

※加家公民館、養父町公民館は参考値として市内平均には含まない。
 ※令和3年度（2021年度）8月一番畑保育園については、デボジットゲージ破損の為、欠測となった。

環境騒音測定結果

指標5 参考

令和4年度

単位：dB

町名	測定点	測定日	用途地域	類型	昼間 6～22時	環境基準 6～22時	夜間 22～6時	環境基準 22～6時
名和町	緑陽敬老の家	4月14日	近隣商業	C	54	60	52	50
名和町	上野公民館	10月6日	1種中住	A	50	55	47	45
中央町	市役所	10月13日	1種住居	B	52	55	47	45
中ノ池	中ノ池敬老の家	9月14日	1種低住	A	44	55	39	45
横須賀町	文化センター	10月27日	商業	C	51	60	46	50
加木屋町	三ツ池保育園	9月8日	調整	B	52	55	47	45

道路交通騒音・振動測定結果

令和 4 年度 (2022 年度)

単位 : d B

測定日	測定点	町名	区域区分	用途地域	道路に面する区域	騒音測定結果					振動測定結果				
						昼間	要請限度	環境基準(参考)	夜間	要請限度	環境基準(参考)	昼間	要請限度	環境基準(参考)	夜間
4/20 ~ 4/22	緑陽市民館	名和町	c	近隣商業	幹線道路(県道) 2車線以上	68	75	70	64	70	65	/	/	/	/
12/1 ~ 12/3	名和東児童館	名和町	b	1種住居	幹線道路(国道) 2車線以上	64	75	70	60	70	65	41	65	38	60
12/7 ~ 12/9	消防署北出張所	荒尾町	b	1種住居	市道 2車線以上	67	75	65	61	70	60	/	/	/	/
11/16 ~ 11/18	市民体育館	高横須賀町	c	準工業	幹線道路(国道) 2車線以上	66	75	70	62	70	65	44	70	40	65
12/14 ~ 12/16	加木屋市民館	加木屋町	a	1種低住	幹線道路(県道) 2車線以上	68	75	70	65	70	65	42	65	38	60

指標8.9参考

	pH	DO	BOD	COD	SS	T-N	T-P	n-ヘキサソ	大腸菌	ケルダール	アンモニウム	亜硝酸	硝酸	リン酸
土留木川	5月	7.4	4.7	10.0	9.7	6.0	8.7	0.96	230					
	8月	7.4	6.9	5.7	8.1	5.0	7.6	0.65	130	0.7	0.1未満	3.2	26.0	0.17
	11月	7.3	4.2	8.9	7.5	7.0	8.1	0.33	2,200					
	2月	7.5	5.7	15.0	10.0	5.0	10.0	1.1	3,800	7.1	9.0	1.0	14.0	0.32
	平均	7.4	5.4	9.9	8.8	5.8	8.6	0.76	1,600	3.9	4.5	2.1	20.0	0.25
大宮橋	5月	7.7	6.1	1.1	6.4	8.0	2.1	0.28	170					
	8月	7.5	5.1	0.6	4.4	4.0	2.3	0.18	160	0.1	0.2	1.2	6.8	0.05
	11月	7.6	7.1	0.9	10.0	11.0	2.3	0.17	620					
	2月	7.6	8.1	1.4	8.8	5.0	2.9	0.13	440	1.6	1.4	0.3	5.4	0.04
	平均	7.7	6.6	1.0	7.4	7.0	2.4	0.19	350	0.9	0.8	0.8	6.1	0.05

東海市住宅用太陽光発電システム等設置費補助金 実績

項目	内訳	R3	R4
家庭用エネルギー管理システム	補助件数	15件	15件
	市町村補助実績額	150,000円	150,000円
	県補助金精算額	37,000円	37,000円
家庭用燃料電池システム	補助件数	26件	27件
	発電出力合計	18.2 kW	18.9 kW
	市町村補助実績額	1,300,000円	1,350,000円
	県補助金精算額	325,000円	337,000円
定置用リチウムイオン蓄電システム	補助件数	60件	61件
	蓄電容量合計	506.2 kWh	513.30 kWh
	市町村補助実績額	4,800,000円	4,880,000円
	県補助金精算額	1,200,000円	1,220,000円
電気自動車等充給電設備	補助件数	1件	1件
	市町村補助実績額	50,000円	50,000円
	県補助金精算額	12,000円	12,000円
一体的導入（住宅用太陽光発電施設、家庭用エネルギー管理システム、定置用リチウムイオン蓄電システム）	補助件数	28件	28件
	施設出力合計（住宅用太陽光発電施設）	143.87 kW	143.87 kW
	蓄電容量合計（定置用リチウムイオン蓄電システム）	183.3 kWh	183.3 kWh
	市町村補助実績額	3,590,000円	3,590,000円
	県補助金精算額	897,000円	897,000円
一体的導入【ZEH】（住宅用太陽光発電施設、家庭用エネルギー管理システム、高性能外皮等）	補助件数	4件	5件
	施設出力合計（住宅用太陽光発電施設）	24.66 kW	33.48 kW
	市町村補助実績額	600,000円	750,000円
	県補助金精算額	150,000円	187,000円

循環バスの利用状況等について

(1) 令和4年4月1日から令和5年3月31日

区分	利用者数 (人)	内回数券 (人)	現金 (円)
平日 243日	238,865	33,938	5,380,200
休日 122日	68,337	6,852	1,462,900
乗継券	1,973	回数券・定期券 QR決済売上	4,272,148
合計 365日	307,202	40,790	11,115,248
平日平均	983	140	有料利用者数 (人) 361
休日平均	560	56	176
全体平均	842	112	299
回数券 利用率	13.3%	乗継券 利用率	0.6%

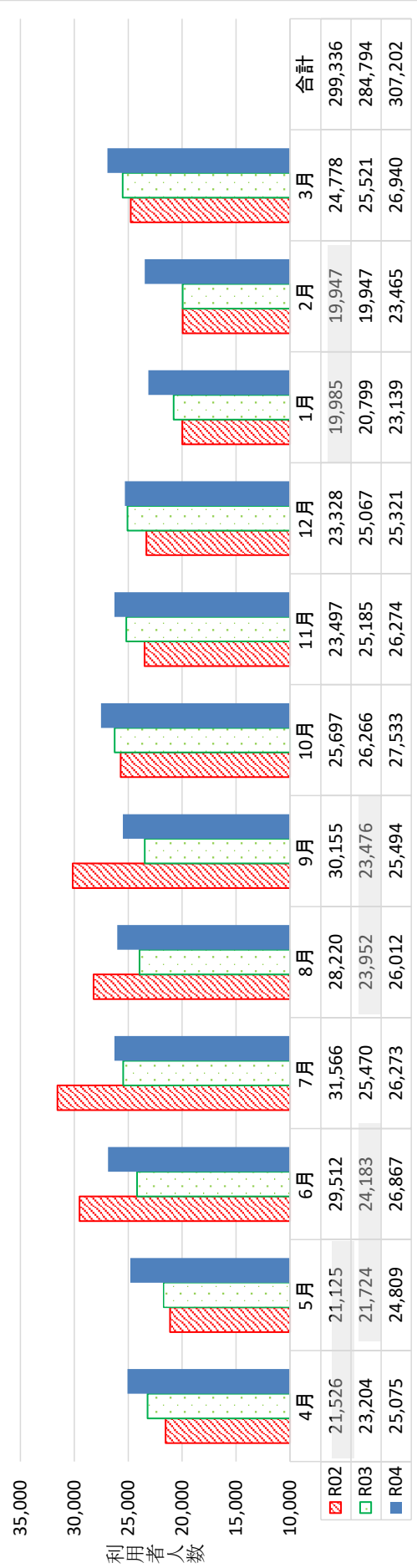
(2) 令和3年4月1日から令和4年3月31日

区分	利用者数 (人)	内回数券 (人)	現金 (円)
平日 245日	222,414	31,259	4,952,350
休日 120日	62,380	6,767	1,360,400
乗継券	2,091	回数券・定期券 QR決済売上	3,742,674
合計 365日	284,794	38,026	10,055,424
平日平均	908	128	有料利用者数 (人) 330
休日平均	520	56	169
全体平均	780	104	277
回数券 利用率	13.4%	乗継券 利用率	0.7%

(3) 差引[(1)-(2)]

区分	利用者数 (人)	内回数券 (人)	現金 (円)
平日 - (2)	16,451	2,679	427,850
休日 (2)	5,957	85	102,500
乗継券	-118	回数券・定期券 QR決済売上	529,474
合計 (0)	22,408	2,764	1,059,824
平日平均	75	12	有料利用者数 (人) 31
休日平均	40	0	7
全体平均	62	8	22
回数券 利用率	-0.1%	乗継券 利用率	-0.1%

令和2年度・令和3年度・令和4年度 循環バスの月別利用者数 (人) 比較表



※ 愛知県緊急事態宣言発出期間

地域の清掃活動に参加した団体数及び人数

指標 13・14 参考

単位：人

実施者	R3		R4		R4-R3		
	延べ 団体数	延べ 参加人数	延べ 団体数	延べ 参加人数	延べ 団体数	延べ 参加人数	
コミ・町内会連合 会・市民行動月間 一斉清掃	6月	1	184	4	984	3	800
	9月	5	478	5	574	0	96
	小計	6	662	9	1,558	3	896
町内会	3	650	4	124	1	-526	
自治会	0	0	0	0	0	0	0
保育園保護者会	5	553	6	605	1	52	
児童館母親クラブ	3	50	6	137	3	87	
子ども会連合会	0	0	0	0	0	0	0
ボーイ・ガールスカウト	4	88	1	40	-3	-48	
その他団体（市民行動月間以外の コミ・町内会連合含む）	9	901	7	921	-2	20	
事業所	7	250	19	1,391	12	1,141	
個人	5	5	5	5	0	0	
	小計	36	2,497	48	3,223	12	726
合計	42	3,159	57	4,781	15	1,622	

令和3年度（2021年度）東海市の面積に対する都市公園面積の割合

- 1 市政概要における都市公園の供用面積（令和4年（2022年）4月1日時点）

125.67ha

- 2 市政概要における東海市面積（平成31年（2019年）4月1日時点）

43.43km²（=4,343ha）

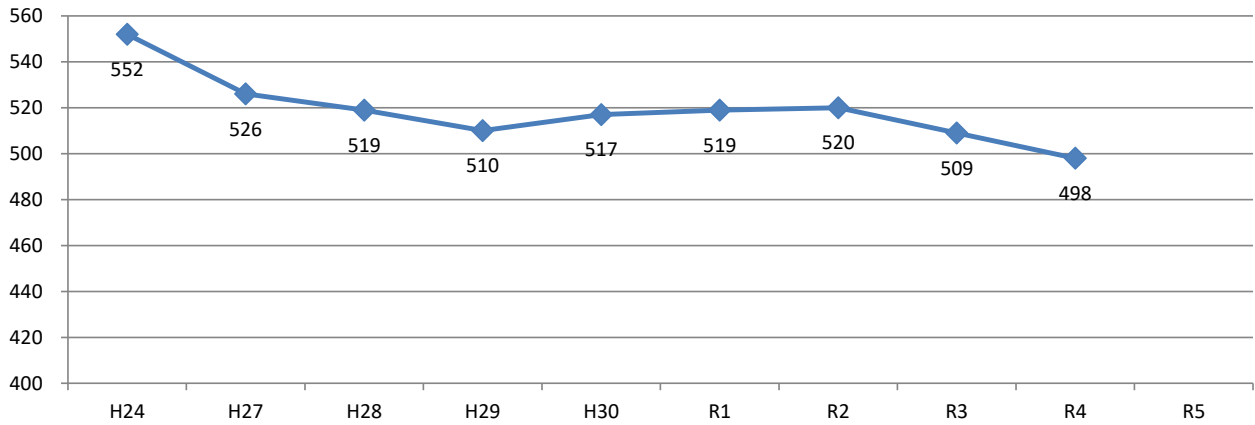
- 3 東海市の面積に対する都市公園面積の割合

$125.67 \div 4,343 \times 100 = 2.89\% \approx 2.9\%$

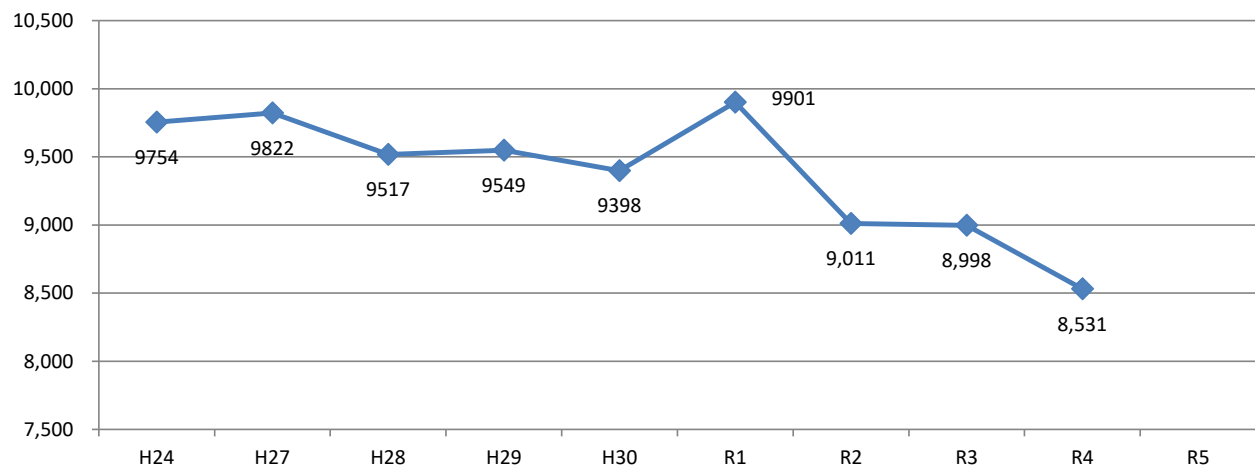
指標	算出方法 (備考)	R4
市民一人当たりのごみの総量	$(J+A+B)/E/F$	853g/人・日
市民一人1日当たりの総排出量	$(J+A)/E/F$	807g/人・日
〃 (硬質プラスチック、小型家電、ペットボトルキャップ、天ぷら廃油、インクカートリッジを除く)	$(J+A')/E/F$	802g/人・日
市民一人当たりの家庭系ごみの排出量	$G/E/F$	460g/人・日
市民一人当たりのごみの排出量(家庭系+事業系)	$J/E/F$	704g/人・日
市民一人当たりの資源回収量 (清掃工場除く)	$(A+B)/E/F$	148g/人・日
市民一人当たりの資源回収量(清掃工場含む)	$(A+B+C)/E/F$	160g/人・日
ごみの資源化率	$(A+B+C)/(J+A+B)$	18.74%
ごみの資源化率(後期計画)	$(A+B+C+D)/(J+A+B)$	20.99%
清掃工場を除く資源化率	$(A+B)/(J+A+B)$	17.41%
ごみのリサイクル率	$A/(A+G)$	18.19%
ごみ焼却施設の設計処理能力に対する処理量の割合	$(K/L)/80*100$	99.1%
この1年間でフリーマーケットに行ったことのある人の割合		12.8%
この1年間で中古品の売買に関するアプリ等を利用したことのある人の割合		27.7%
ごみ減量、リサイクルを心がけている人の割合		88.5%
プラスチック製容器包装の不適合物混合率		6.0%
生活情報アプリの累計ダウンロード数	H28.10配信開始	19,113
最終処分場の年間埋立量		2,965t
1年間のごみ{家庭系・事業系(可燃+不燃)}の清掃センターへの総搬入量	J	29,195,020
市で回収した1年間の資源回収量	A	4,240,583kg
(硬質プラ、小型家電、キャップ、天ぷら廃油、インクカートリッジを除く)	A'	4,071,037kg
資源分別収集(常設場・拠点場)回収量	A- (ア+イ+ウ)	992,646kg
資源分別収集(常設場・拠点場)回収量 (硬質プラ、小型家電、キャップ、天ぷら廃油、インクカートリッジを除く)	A' - (ア+イ+ウ)	823,100kg
市で把握している民間で回収した1年間の資源回収量	B	1,913,898kg
ごみ量と資源量	J+A+B	35,349,501kg
清掃工場で資源化した1年間の量	C	468,268kg
清掃工場以外で資源化した1年間の量	D	796,020kg
年間日数	E	365日
当該年度末の人口	F	113,572人
家庭系ごみの総排出量	G	19,070,910
事業系ごみの総排出量	H	10,124,110
計	J=(G+H)	29,195,020
焼却炉の焼却量	K	30,603.53t
工場の稼働日数	L	386日
集団回収量	ア	1,945,787
ごみ集積場所資源回収量	イ	1,296,470
公共施設	ウ	5,680
ごみ処理経費	エ	
最終処分量	オ	2,965t
当該年度10月1日現在の人口	カ	113,905人

公共回収を実施しなかった場合の家庭系ごみの排出量及び事業系ごみの排出量

成果指標19 市民一人当たりの家庭系ごみの排出量(g/人・日)



成果指標20 事業系ごみの総排出量(t)



ごみ搬入量

単位: kg

令和4年度

	許可業者 G			事業所 H(持込)			事業系 K (G+H)		
	可燃物	不燃物	合計	可燃物	不燃物	合計	可燃物	不燃物	合計
4	561,790	1,390	563,180	185,410	360	185,770	747,200	1,750	748,950
5	573,710	490	574,200	287,350	120	287,470	861,060	610	861,670
6	571,120	470	571,590	341,480	150	341,630	912,600	620	913,220
7	569,990	770	570,760	350,300	540	350,840	920,290	1,310	921,600
8	590,220	490	590,710	321,700	1,980	323,680	911,920	2,470	914,390
9	558,990	320	559,310	440,820	1,000	441,820	999,810	1,320	1,001,130
10	559,510	310	559,820	360,320	80	360,400	919,830	390	920,220
11	529,080	420	529,500	302,750	450	303,200	831,830	870	832,700
12	546,460	960	547,420	311,220	250	311,470	857,680	1,210	858,890
1	509,080	500	509,580	207,000	170	207,170	716,080	670	716,750
2	469,660	610	470,270	194,840	1,930	196,770	664,500	2,540	667,040
3	559,950	650	560,600	205,820	1,130	206,950	765,770	1,780	767,550
合計	6,599,560	7,380	6,606,940	3,509,010	8,160	3,517,170	10,108,570	15,540	10,124,110

2023/4/11

東海市プラスチック容器包装組成調査表
不適合物割合
＜単位：kg＞

	前期分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計	総合計
入荷量		93,460	84,780	89,010	93,260	84,090	102,070	546,670	78,940	78,110	104,460	84,420	78,380	99,000	523,310	1,069,980
不適合物		8,740	8,660	6,930	5,370	5,050	5,410	40,160	2,690	2,620	3,200	3,720	3,790	3,100	19,120	59,280
出荷		83,130	90,900	75,610	76,770	94,570	87,250	508,230	88,630	71,830	77,260	99,600	82,610	84,630	504,560	1,012,790
在庫	18,880	20,470	5,690	12,160	23,280	7,750	17,160	17,160	4,780	8,440	32,440	13,540	5,520	16,790	16,790	16,790
割合		(9%)	(10%)	(8%)	(6%)	(6%)	(5%)	(7%)	(3%)	(3%)	(3%)	(4%)	(5%)	(3%)	(4%)	(6%)

不適合物組成
＜単位：kg＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計	総合計
紙類	80 (0.9%)	80 (0.9%)	40 (0.6%)	40 (0.7%)	50 (1.0%)	60 (1.1%)	350 (0.9%)	130 (4.8%)	80 (3.1%)	120 (3.8%)	110 (3.0%)	60 (1.6%)	80 (2.6%)	580 (3.0%)	930 (1.6%)
ペットボトル	460 (5.3%)	460 (5.3%)	460 (6.7%)	420 (7.8%)	500 (9.9%)	500 (9.2%)	2800 (7.0%)	320 (11.9%)	380 (14.5%)	360 (11.3%)	420 (11.3%)	340 (9.0%)	380 (12.3%)	2200 (11.5%)	5,000 (8.4%)
ビン・缶	60 (0.7%)	60 (0.7%)	50 (0.7%)	50 (0.9%)	10 (0.2%)	30 (0.6%)	140 (0.3%)	40 (1.5%)	40 (1.5%)	40 (1.3%)	40 (1.1%)	40 (1.1%)	40 (1.3%)	240 (1.3%)	380 (0.6%)
未洗浄で処理可能なプラスチック容器 (可燃ごみ)	40 (0.5%)	30 (0.3%)	10 (0.1%)	20 (0.4%)	10 (0.2%)	10 (0.2%)	140 (0.3%)	40 (1.5%)	40 (1.5%)	40 (1.3%)	40 (1.1%)	40 (1.1%)	40 (1.3%)	240 (1.3%)	380 (0.6%)
その他(可燃ゴミ)	3,560 (40.7%)	6,340 (73.2%)	4,290 (62.5%)	2,990 (55.7%)	1,880 (37.2%)	2,080 (38.4%)	21,140 (52.7%)	1,490 (55.4%)	1,450 (55.3%)	1,360 (42.5%)	1,460 (39.2%)	1,190 (31.4%)	1,670 (53.9%)	8,620 (45.1%)	29,760 (50.3%)
不燃ゴミ	0 (0.0%)	10 (0.1%)	10 (0.1%)	10 (0.2%)	10 (0.2%)	10 (0.2%)	50 (0.1%)	10 (0.4%)	10 (0.4%)	10 (0.3%)	10 (0.3%)	10 (0.3%)	10 (0.3%)	60 (0.3%)	110 (0.2%)
水分	4,540 (51.9%)	1,680 (19.4%)	2,000 (29.2%)	1,840 (34.3%)	2,550 (50.5%)	2,670 (49.4%)	15,280 (38.1%)	670 (24.9%)	620 (23.7%)	1,270 (39.7%)	1,640 (44.1%)	2,110 (55.7%)	870 (28.1%)	7,180 (37.6%)	22,460 (37.9%)
不適合物合計	8,740 (100.0%)	8,660 (100.0%)	6,860 (100.0%)	5,370 (100.0%)	5,050 (100.0%)	5,410 (100.0%)	40,090 (100.0%)	2,690 (100.0%)	2,620 (100.0%)	3,200 (100.0%)	3,720 (100.0%)	3,790 (100.0%)	3,100 (100.0%)	19,120 (100.0%)	59,210 (100.0%)

プラスチック容器包装組成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期平均	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期平均	年間平均
ポリ袋・ラップ類	30%	28%	29%	27%	28%	30%	29%	27%	30%	25%	25%	30%	35%	29%	29%
カップ・パック類	33%	32%	35%	37%	35%	35%	35%	36%	35%	35%	35%	35%	30%	34%	34%
トレイ類	27%	30%	25%	25%	26%	25%	26%	28%	26%	30%	30%	25%	25%	27%	27%
ボトル類	7%	7%	8%	8%	8%	7%	8%	6%	6%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
緩衝材類	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%
ふた類	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%
ネット類	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%
容器包装計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

合計 単位:kg											
品名	常設場	拠点場	店頭ペ	公共施設	分別計	集団回収	集積場所	公共回収	合計	前年度分	今年度-前年度
ペットボトル	45,744.00	2,481.80	120,596.00		168,821.80		169,440.00	1,050.00	339,311.80	339,130.00	181.80
プラスチック製容器包装	31,850.00	1,810.00			33,660.00		1,032,920.00	3,400.00	1,069,980.00	1,105,590.00	-35,610.00
トレイ	4,234.70	429.30			4,664.00				4,664.00	5,131.80	-467.80
ペットボトルキャップ	7,205.10		5,511.80	1,414.20	14,131.10				14,131.10	12,797.40	1,333.70
プラ計	43,289.80	2,239.30	5,511.80	1,414.20	52,455.10		1,032,920.00	3,400.00	1,088,775.10	1,123,519.20	-34,744.10
アルミ缶	21,480.00	1,611.60			23,091.60	37,479.00	58,620.00	750.00	119,940.60	131,613.00	-11,672.40
スチール缶	10,840.00	2,130.00			12,970.00	23,740.00	35,490.00	480.00	72,680.00	71,568.00	1,112.00
紙類	392,845.00	56,790.00			449,635.00	1,633,801.00			2,083,436.00	2,225,125.00	-141,689.00
布類	50,085.00	5,200.00			55,285.00	128,561.00			183,846.00	205,573.00	-21,727.00
びん	53,100.00	21,680.00			74,780.00	122,206.00			196,986.00	220,514.00	-23,528.00
硬質プラ	41,820.00				41,820.00				41,820.00	43,810.00	-1,990.00
小型家電(低)	91,979.20				91,979.20				91,979.20	97,454.90	-5,475.70
小型家電(高)	14,174.00				14,174.00				14,174.00	13,020.00	1,154.00
インカートリッジ				247.40	247.40				247.40	291.60	-44.20
天ぷら廃油	3,100.00			4,095.00	7,195.00				7,195.00	7,785.00	-590.00
羽生ふとん(1kg以上)	178.80				178.80				178.80	148.80	30.00
羽生ふとん(1kg未満)	13.50				13.50				13.50	10.20	3.30
計	768,649.30	92,132.70	126,107.80	5,756.60	992,646.40	1,945,787.00	1,296,470.00	5,680.00	4,240,583.40	4,479,562.70	-238,979.30
計(硬質プラスチック、小型家電、キャップ、天ぷら廃油、インカートリッジ)					823,099.70				4,071,036.70	4,304,403.80	-233,367.10

※拠点場の天ぷら廃油は常設場と一緒にしている

※R2より紙類(常設場)に段ボール(指定袋分)を含める。

※R4公共施設を追加する。

環境の柱 4 参考

令和4年度民間事業者資源回収量

	新聞	雑誌	ダンボール	牛乳パック	紙類計	古着	アルミ缶	スチール	PETボトル	パソコン	携帯電話	家電	合計
加古新聞店	53,380	0	0	0	53,380	0	0	0	0	0	0	0	53,380.0
愛誠商事 (加木屋)	36,300	79,930	60,200	490	176,920	21,990	0	0	0	0	0	0	198,910.0
愛誠商事 (上野台)	48,450	67,450	98,520	890	215,310	45,503	0	0	0	0	0	0	260,813.0
愛誠商事 (一番畑)	29,180	39,360	86,140	640	155,320	34,540	0	0	0	0	0	0	189,860.0
愛誠商事 (姫島)	0	0	280	0	280	0	0	0	0	0	0	0	280.0
オノセイ (東海)	40,210	65,380	80,450	0	186,040	1,100	770	0	0	0	0	0	187,910.0
オノセイ (フイール)	138,530	81,200	102,860	0	322,590	0	0	0	0	0	0	0	322,590.0
オノセイ (洞ヶ山)	44,550	41,420	115,950	0	201,920	0	7,054	1,475	0	0	0	0	210,449.0
オノセイ (大府インター)	22,830	27,640	81,380	0	131,850	0	6,399	1,401	0	0	0	0	139,650.0
オノセイ (横須賀)	16,100	15,640	36,350	0	68,090	0	0	0	0	0	0	0	68,090.0
リネットジャパン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,025.0	9.6	548.3	1,582.9
ヤマナカ (アールテ東海)	0	73,428	27,322	0	100,750	0	5,314	0	16,088	0	0	0	122,152.1
ヤマナカ (高横須賀)	0	100,937	35,661	0	136,598	0	5,686	0	15,947	0	0	0	158,230.9
合計	429,530	592,385	725,113	2,020	1,749,048	103,133	25,223	2,876	32,035	1,025.0	9.6	548.3	1,913,898.0

※アビッツはR1年10月に撤退
 マックスバリュー(東海荒尾店)に資源回収量確認の連絡をしたが、回収量を把握していないとのこと。
 ※総合計は小数第2位を四捨五入する。